

# 資料編



# 1) 村民アンケート調査結果

(結婚・出産・子育て、定住・移住に関するアンケート調査)  
 (定住・移住に関するアンケート調査)

## ①アンケート概要

- アンケート実施期間：平成 27 年 11 月 26 日～平成 28 年 1 月 15 日
- 配布部数 800 部
- 回答部数：79 部
- 回収率：9.8%

## ②調査票

源高敷村 結婚・出産・子育て、定住移住に関するアンケート。

**結婚・出産・子育てに関する項目**

あなたご自身のことについてお尋ねします。

**問1 あなたの性別を教えてください。(O印は1つ)**

1 男性 2 女性

**問2 あなたの年齢を教えてください。(O印は1つ)**

1 20歳未満	2 20歳～29歳
3 30歳～39歳	4 40歳～49歳
5 50歳～59歳	6 60歳～69歳
7 70歳～79歳	8 80歳以上

**問3 あなたの在住まいの地区を教えてください。(O印は1つ)**

1 阿波連 2 源高敷 3 源高志久 4 前島

**問4 源高敷村に住まれている理由について教えてください。(O印は1つ)**

1 親の代から住み続けているから。  
 2 働く場所に近いかから。  
 3 親戚がいるから。  
 4 友人がいるから。  
 5 結婚して住んだのがきっかけ。  
 6 転勤になったから。  
 7 自然環境が気に入ったから。  
 8 島の暮らし、田舎暮らしにそこがいていたから。  
 9 その他

**問5 あなたの出身地(生まれた場所)を教えてください。(O印は1つ)**

1 源高敷村 ( 1 阿波連 2 源高敷 3 源高志久 4 前島 )  
 2 沖縄県内のその他の市町村 ( 離島も含む ) ( 市町村名: )  
 3 沖縄県以外の都道府県 ( 都道府県名: )  
 4 国外 ( 国名: )

源高敷村 結婚・出産・子育て、定住移住に関するアンケート。

**問6 あなたの家族形態を教えてください。(O印は1つ)**

1 一人暮らし 2 本人と配偶者と子ども 3 本人と子ども(母子・父子世帯)  
 4 本人と親 5 三世代家族(本人と親と子ども)  
 6 夫婦のみ 7 友人と同居  
 8 その他

**問7 あなたの現在のお勤め状況をお答えください。(O印は1つ)**

1 正社員・正職員 2 パート・アルバイト  
 3 派遣・嘱託・契約社員 4 福祉的就労(授産施設、共同作業所など)  
 5 自営業 6 専業主婦(夫) ( 期間 10 へ )  
 7 学生 ( 期間 10 へ )  
 8 無職 ( 期間 10 へ )  
 9 その他

**問8 問7で1～5を選択した方にうかがいます。  
 あなたの職業をお答えください。(O印は1つ)**

1 農林漁業	2 建設業
3 製造業	4 運輸通信業
5 運輸・郵便業	6 卸売・小売業
7 金融・不動産業	8 学術研究、専門・技術サービス業
9 宿泊業、飲食サービス業	10 生活関連サービス業、娯楽業
11 教育・学習支援業	12 医療・福祉
13 サービス業	14 公務員
15 その他	

**問9 問7で1～5を選択した方にうかがいます。  
 あなたの籍貫はどこですか。(O印は1つ)**

1 源高敷村 ( 1 阿波連 2 源高敷 3 源高志久 4 前島 )  
 2 沖縄県内のその他の市町村 ( 離島も含む ) ( 市町村名: )  
 3 沖縄県以外の都道府県 ( 都道府県名: )  
 4 国外 ( 国名: )

問10 あなたの昨年(平成26年)の年収を教えてください。非定期的なアルバイト、年金、生活保護等も含めて、昨年の年間合計額を回答してください。(O印は1つ)

- 1 0~99万円 2 100万円台
3 200万円台 4 300万円台
5 400万円台 6 500万円台
7 600万円台 8 700万円台
9 800万円台 10 900万円台
11 1,000万円台以上。

問11 現在居住している住宅の種類をご回答ください。(O印は1つ)

- 1 持ち家(一戸建て) 2 持ち家(マンション・共同住宅)
3 公営または公的賃貸住宅 4 民営の賃貸住宅
5 社宅などの給付住宅 6 その他

問12 あなたは現在、地域の活動(自治会、公民館活動、老人クラブなど)にどの程度参加していますか。(O印は1つ)

- 1 積極的に参加している 2 内容によっては参加している
3 ほとんど参加していない 4 まったく参加していない
5 その他

問13 あなたが地域活動に取り組みやすくするために必要なことは何ですか。あてはまるものを3つ選んでください。(O印は3つまで)

- 1 参加する時間の確保 2 桜材や活動資金の確保
3 専門家の助言 4 活動をしている人や施設の情報
5 地域活動への理解 6 一緒に活動する仲間確保
7 NPOやボランティアの情報 8 活動と一時的に休むできし機や参加する機会の確保
9 地域活動の社会的な信用 10 活動のための事務所や会場の確保
11 活動中の事故の補償制度 12 技術、知識、資格を習得するための研修
13 その他

問14 あなたは将来に対して、どのようなことに不安を感じていますか。3つ選んでOをつけてください。(O印は3つまで)

- 1 自分の健康や介護のこと 2 国の社会保障制度
3 家計の収入のこと 4 子どもの将来のこと
5 仕事や雇用のこと 6 生き方や生きがいのこと
7 何となく不安 8 自然災害
9 環境問題 10 人口の減少
11 高齢・少子化 12 治安の悪化
13 税金負担の増加 14 まち・コミュニティの衰退
15 その他

結婚・出産・子育てについてお聞ねします。

問15 あなたにとって、結婚と独身、どちらにより利点があると思いますか。(O印は1つ)

- 1 結婚の方が利点があると思う
2 独身の方が利点があると思う

問16 あなたの考える結婚のメリット・独身のメリットを教えてください。結婚・独身両方から2つずつお選びください。(O印は各2つまで)

Table with 2 columns: 結婚のメリット, 独身のメリット. Lists various pros and cons for both.

問17 あなたは結婚されていますか。(O印は1つ)

- 1 独身である
2 以前、結婚していた(現在は独身)
3 結婚している。または近々結婚する予定がある

ここからは独身の方にお聞きします。(問17で1~2を選択された方)

問18 あなたが、今現在、独身でいる理由を教えてください。(O印は3つまで)

- 1 結婚するには若すぎるから 2 適当な相手がないから
3 今は仕事・学業に専念したいから 4 恋愛運や縁業、自分の時間を大切にしたいから
5 異性とうまくつきあえないから 6 結婚生活に希望が見いだせないから
7 相手はいるが結婚の条件が合わないから(金銭面・住居・親の同意等)
8 親族の介護などで結婚できる環境ではないから
9 その他

問19 あなたの結婚についての考え方を教えてください。(O印は1つ)

- 1 早めに結婚したい
2 時期にはとらわれていないが、いずれは結婚したい
3 結婚はしたいが今はできない
4 結婚するつもりはない

引き続き独身の方にお聞きします。(問18で1~2を選択された方)

問20 問19で1~2を選択した方にうかがいます。何歳くらいまで結婚したいと考えていますか。また子どもは几人ほしいと考えますか。

Form with input fields for age and number of children, and a note to enter numbers directly.

問21 問19で1~2を選択した方にうかがいます。

現在交際している人、あるいは結婚を考えてもよいパートナーが見つかった場合、1年以内に結婚するとすれば、何が障害になると感じますか。(O印は3つまで)

- 1 障害はない 2 結婚資金(挙式や新生活の準備資金)
3 結婚生活のための住居 4 結婚後の生活・子育ての資金
5 親の承諾 6 親との同居や扶養
7 学校や学業上の問題 8 仕事上の問題
9 年齢上的こと 10 健康上的こと
11 その他

問22 問19で3~4を選択した方にうかがいます。

結婚しない理由、結婚できない理由を教えてください。(O印は3つまで)

- 1 行内に結婚・恋愛を対象とする異性がいない
2 理想の相手にめぐり会わない 3 職場や周囲に未婚の異性がいない
4 自分や相手はまだ若すぎる 5 異性にめぐり会う機会(場)がない
6 安定した仕事についていない 7 金銭的な余裕がない
8 仕事が終わる時間がとれない 9 やりたいことや打ち込みたいことがある
10 仕事・学業に専念したい 11 結婚生活に希望が見いだせない
12 結婚の必要性を感じない 13 異性とうまくつきあえないから
14 自由や気楽さを失いたくないから 15 親の介護などで結婚できる環境ではないから
16 その他

ここからは結婚の方にお聞きします。(問17で3を選択された方)

問23 あなたは何歳の時に結婚しましたか。

Form with an input field for age and a note to enter the number directly.

問24 あなたには現在、お子様は何人おられ、最終的には何人のお子様を持つ予定ですか。また理想とするお子様の数は何人ですか。それぞれに1つずつOをつけてください。

Table with 2 rows: 現在のお子様の数, 理想のお子様の数. Columns for 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6+ people.

問25 問24で理想のお子様の数より、最終的に持つ予定のお子様の数が多い方にうかがいます。妨げになっている要因はなんですか。(O印は3つまで)

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
3 これ以上育児の心的肉体的負担に耐えられないから
4 子どもがのびのび育つ環境ではないから
5 高齢出産になりリスクが高いから
6 健康上の理由から
7 ほしいけれどもできないから
8 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
9 収入上の問題があるから
10 正規の職員ではない(派遣・嘱託・契約社員)ため、将来の仕事に不安があるから
11 保育所など預け先がないから
12 夫の家事育児への協力が得られないから
13 配偶者が望まないから
14 求子が夫の定年退職まで成人してほしいから
15 その他

浪高敷村 結婚・出産・子育て、定住移住に関するアンケート。

**ここからは全ての方にお願いします。**

問28 **結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるために効果的な支援はどれだと思いますか。(〇印は3つまで)**

- 1 正規雇用の推進など若い世代の経済的な安定。
- 2 安定した雇用機会の提供。
- 3 残業時間の短縮や休暇の取得促進など自由な時間の確保。
- 4 夫婦がともに働き続けられる職場環境の充実。
- 5 女社が働きやすい環境づくり。
- 6 男女の出会いの場の提供。
- 7 結婚に関する相談体制。
- 8 結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援。
- 9 結婚したほうが有利になるような税制や社会保障。
- 10 その他( )。

問27 **出産しやすい環境をつくるために効果的な支援はどれだと思いますか。(〇印は3つまで)**

- 1 妊娠・出産に関する相談・サポート体制の充実。
- 2 妊娠・出産時の経済的負担の軽減。
- 3 産休・育休制度の充実。
- 4 産後に職場復帰ができる企業体制。
- 5 保育所などの預け先の施設の充実。
- 6 子育てに関する相談・サポート体制の充実。
- 7 保育料や幼児教育費、医療費など子育てに関する経済的負担の軽減。
- 8 子育てがしやすい税制や社会保障。
- 9 公営住宅への子育て世帯の優先入居など住宅面の支援。
- 10 短時間勤務制度など、仕事と育児を両立できる制度の充実。
- 11 その他( )。

浪高敷村 結婚・出産・子育て、定住移住に関するアンケート。

問28 **子育てしやすい環境をつくるために効果的な支援はどれだと思いますか。(〇印は3つまで)**

- 1 子育てを地産で見守るコミュニティの充実。
- 2 子育てに関する相談、サポート体制の充実。
- 3 育児に関するセミナーなどの開催。
- 4 育児休暇制度の充実(期間の延長など)。
- 5 男性の育児休暇取得の推進。
- 6 子どもの人数に応じた経済的な支援。
- 7 保育所などの預け先の施設の充実。
- 8 企業による育児明けの働き方に関する支援。
- 9 子育てがしやすい税制や社会保障。
- 10 育児や住宅に対する資金貸与や補助支援。
- 11 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保。
- 12 支援は必要ない。
- 13 その他( )。

問29 **結婚、出産、子育てについてのご意見、少子化対策などに関するアイデアなどありましたらご自由にお書きください。**

浪高敷村 結婚・出産・子育て、定住移住に関するアンケート。

**定住・移住に関する項目**

浪高敷村のことについておたずねします。

問30 **浪高敷村が自慢できるものは何だと思いますか。(〇印は3つまで)**

- 1 穏やかな気候
- 2 自然との共生
- 3 自治会等の充実
- 4 自動車での移動のしやすさ
- 5 買い物など生活しやすさ
- 6 園立公園でもあるすばらしい自然
- 7 美しい陸の自然
- 8 美しい海の自然
- 9 教育環境の充実
- 10 環境保全に対する取組
- 11 人と人とのつながり
- 12 治安のよさ
- 13 歴史や伝統文化
- 14 子育て支援策の充実
- 15 生涯学習機会の充実
- 16 沖繩本島から近い島の位置
- 17 福祉対策の充実
- 18 その他( )。

問31 **浪高敷村で生活するうえで不便を感じることはありませんか。(〇印は3つまで)**

- 1 日常の移動のために必要なバスなどの公共交通が不便。
- 2 マイカーが無いと移動するのが不便。
- 3 スーパーやコンビニなど、日常の買い物をする場所がなく不便。
- 4 村内の小学校・中学校への通学が不便。
- 5 子育て支援策などが不十分である。
- 6 村内に働く場がなく就職先を探すのが不便。
- 7 仕事を辞す際、非職の情報などがなく不便。
- 8 パソコンを使って利便性を高めたいが、教えてくれる場所や人がいない。

問32 **日常生活の買い物をごどのように行っていますか。買い物種類のそれぞれについてお答えください。**

(1) **肉、野菜、魚などの生鮮食品(良く利用するものを3つまで)**

- 1 村内の商店
- 2 商店の配達を利用
- 3 沖繩本島の友人・知人を通じて送ってもらう。
- 4 沖繩本島に行った際にまとめて買出し。
- 5 インターネットでの通信販売
- 6 生協の配達
- 7 カタログ等を使った通信販売
- 8 その他( )。

(2) **生活雑貨などの日用品(良く利用するものを3つまで)**

- 1 村内の商店
- 2 商店の配達を利用
- 3 沖繩本島の友人・知人を通じて送ってもらう。
- 4 沖繩本島に行った際にまとめて買出し。
- 5 インターネットでの通信販売
- 6 生協の配達
- 7 カタログ等を使った通信販売
- 8 その他( )。

浪高敷村 結婚・出産・子育て、定住移住に関するアンケート。

(3) **衣服などの衣料品(良く利用するものを3つまで)**

- 1 村内の商店
- 2 商店の配達を利用
- 3 沖繩本島の友人・知人を通じて送ってもらう。
- 4 沖繩本島に行った際にまとめて買出し。
- 5 インターネットでの通信販売
- 6 生協の配達
- 7 カタログ等を使った通信販売
- 8 その他( )。

定住・移住についてお尋ねします。

問33 **あなたは浪高敷村で生活して何年になりますか。(〇印は1つ)**

- 1 5年未満
- 2 5年～10年未満
- 3 10年～20年未満
- 4 20年～30年未満
- 5 30年以上

問34 **あなたの居住歴を教えてください。(〇印は1つ)**

- 1 生まれたときから浪高敷村に住んでいる (→問38へ)
- 2 浪高敷村で生まれ、他市町村に住んだ後、浪高敷村に帰ってきた (→問35へ)
- 3 他市町村で生まれ、浪高敷村に引っ越してきた (→問35へ)

問35 **問34で2～3を選択した方にうかがいます。浪高敷村に引っ越す直前のお住まいはどちらでしたか。**

以前の居住地(都道府県名: \_\_\_\_\_ 市町村名: \_\_\_\_\_)

問36 **問34で2～3を選択した方にうかがいます。あなたが浪高敷村に引っ越してきたきっかけは何ですか。ご本人以外の理由も含めて、あてはまるものを優先順位が高い順に3つまで選んでください。**

優先順位	選択番号
1位	_____
2位	_____
3位	_____

【選択肢(浪高敷村に引っ越してきたきっかけ)】

- 1 就職のため
- 2 転居のため
- 3 開業・創業のため
- 4 転勤のため
- 5 住宅事情のため
- 6 生活環境上の理由
- 7 子育て環境上の理由
- 8 結婚又は離婚のため
- 9 通勤、通学が不便だったため
- 10 入学、進学、転校のため
- 11 家族、親族と同居又は近くに引っ越すため
- 12 親・親族の介護のため
- 13 入院・入所のため
- 14 定年退職後(老後)のため
- 15 その他( )

問37 問34で2～3を選択した方にうかがいます。  
転居するのには漁高敷村を選んだ理由をお聞かせください。(〇印はいくつでも)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1 生まれ育った島だから             | 2 親や親戚、兄弟が住んでいたから。  |
| 3 友人・知人が住んでいたから          | 4 買い物など日常生活が便利だから。  |
| 5 保育園などの子育て環境・支那がよいから    | 6 自然環境が豊かだから。       |
| 7 教育や文化的な環境がよいから         | 8 医療や福祉が充実しているから。   |
| 9 土地・建物の価格や広さなど住宅事情がよいから | 10 村内に職場、就職先があったから。 |
| 11 通勤・通学が便利だから           |                     |
| 12 沖縄本島との交通の便がよいから       | 13 島のイメージがよいから。     |
| 14 田舎暮らしが良かったから          | 15 農業が良かったから。       |
| 16 漁業が良かったから             |                     |
| 17 ダイビングなど暇に暇する仕事があったから  |                     |
| 18 観光などで訪れた際に気に入ったから。    |                     |
| 19 その他( )                |                     |

問38 全ての方にうかがいます。  
あなたは漁高敷村に今後とも住み続けようとお考えですか。(〇印は1つ)

- |   |
|---|
| 1 これからもずっと漁高敷村に住み続けたい [ 問 42 ]          |
| 2 村外に一時転出すると思うが、将来は漁高敷村に帰って来たい [ 問 42 ] |
| 3 できれば村外に転出したい [ 問 39 ]                 |
| 4 村外に転出する予定 [ 問 39 ]                    |
| 5 わからない [ 問 42 ]                        |

問39 問38で3～4を選択した方にうかがいます。  
転出されるのは何年後をお考えですか。(〇印は1つ)

- |            |            |                 |
|------------|------------|-----------------|
| 1 半年未満     | 2 半年以上1年未満 | 3 1年以上3年未満      |
| 4 3年以上5年未満 | 5 5年以上     | 6 決めていない・わからない。 |

問40 問38で3～4を選択した方にうかがいます。  
転出予定の地域は、次のどれにあてはまりますか。(〇印は1つ)

- |                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| 1 沖縄県内(市町村名: )                        | 市町村名: ( ) |
| 2 県外(都道府県名: )                         |           |
| 3 県外に決まっていますが、沖縄県内の他の離島に転出したい。        |           |
| 4 県外に決まっていますが、県内の都市部に転出したい(沖縄本島の中南部)。 |           |
| 5 県外に決まっていますが、県外へ転出したい。               |           |
| 6 県外に決まっていますが、東京近辺などの県外の都市部に転出したい。    |           |

問41 問38で3～4を選択した方にうかがいます。  
転出を考えた・転出するきっかけはなんですか。(〇印は1つ)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 就職のため            | 2 転職のため              |
| 3 開業・創業のため         | 4 転勤のため              |
| 5 住宅事情のため          | 6 生活環境上の理由           |
| 7 島から出て暮らして生活したいため | 8 子育て環境上の理由          |
| 9 結婚又は離婚のため        | 10 通勤・通学が不便だったため     |
| 11 入学、進学、転校のため     | 12 家族、親縁と同居又は近くに住むため |
| 13 親・親縁の介護のため      | 14 入院・入所のため          |
| 15 定年退職後(老後)のため    |                      |
| 16 入居・入所のため        |                      |
| 17 その他( )          |                      |

問42 全ての方にうかがいます。  
漁高敷村への転入者を増やすための効果的な支援はどれだと思いますか。(〇印は3つまで)

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1 家を借りる際の家賃補助                | 2 空き家を購入する際の補助。 |
| 3 住宅・空き家をリフォームする際の補助         | 4 固定資産税の減免。     |
| 5 起業、創業支援・助成                 | 6 就職先の創設・支援。    |
| 7 農林業の就労者への助成金               | 8 転入者に対する奨励金。   |
| 9 転入者用の公営住宅の整備。              |                 |
| 10 子育て・障がい者の方が入居しやすい住宅の整備。   |                 |
| 11 子育てにかかる費用(医療・学費・保育費等)の助成。 |                 |
| 12 その他( )                    |                 |

問43 全ての方にうかがいます。  
漁高敷村に住み続ける、又は、漁高敷村に戻ってくる・転入してくるために必要な条件はどれだと思いますか(〇印は3つまで)

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1 地元での雇用機会              | 2 地元産業の振興・活性化。    |
| 3 交通・買い物などの日常利便性        | 4 交通・通勤環境の利便性。    |
| 5 地味のにきわい・コミュニティ        | 6 子育て・教育環境。       |
| 7 医療・福祉環境               | 8 自然・文化・歴史の保全・活用。 |
| 9 娯楽・レジャー施設             | 10 治安・防犯。         |
| 11 住居の確保しやすい(全額面・貸付面など) | 12 生涯学習・地域活動。     |
| 13 その他( )               |                   |

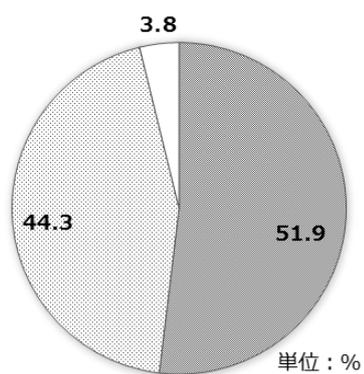
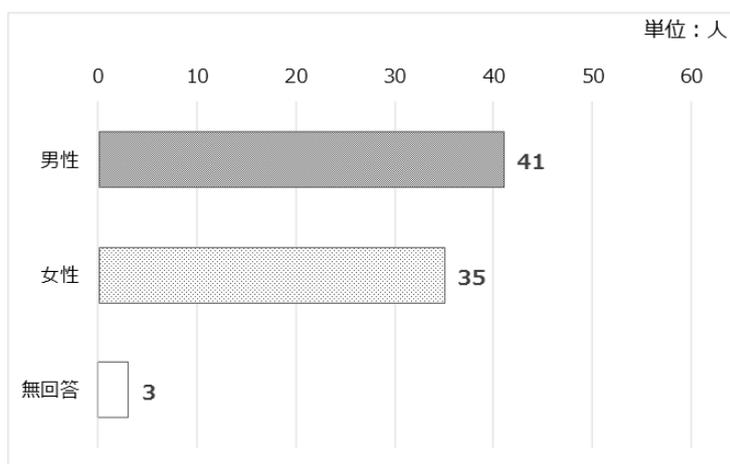
問44 全ての方にうかがいます。  
漁高敷村の定住・移住に関するご意見・定住化を促進するアイデアなどありましたらご自由にお書きください。

～ アンケートへのご協力ありがとうございました ～

③結婚・出産・子育て、定住・移住に関するアンケート調査

問1	あなたの性別を教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	76人	無回答	3人

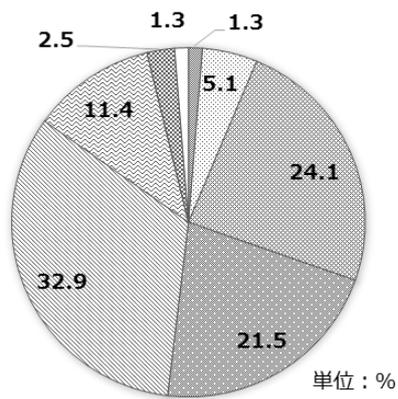
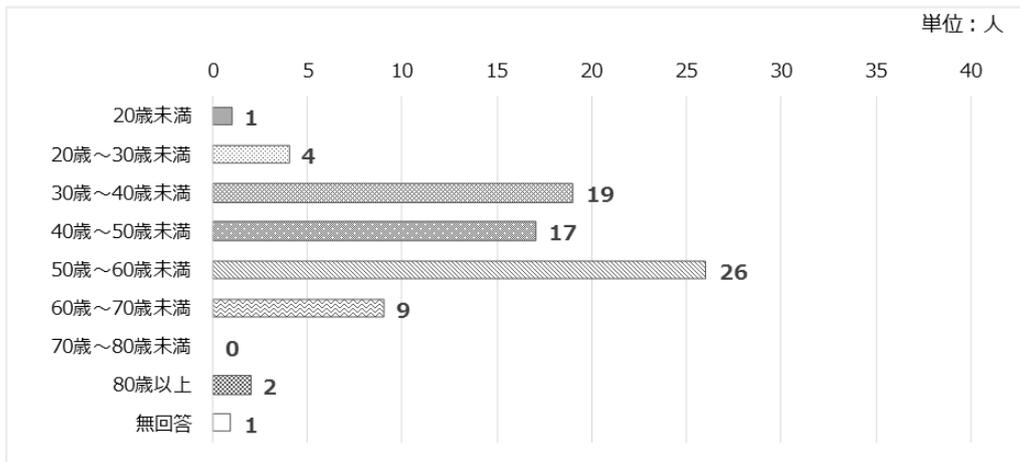
有効回答者数76人のうち、男性が41人、女性が35人であった。  
 渡嘉敷村の男女比（住民基本台帳平成26年1月1日時点）は男性：女性＝54：46であり、本アンケートの回答者属性と概ね重なる結果であった。男女の回答率に大きな偏りは見られないといえる。



問2	あなたの年齢を教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	78人	無回答	1人

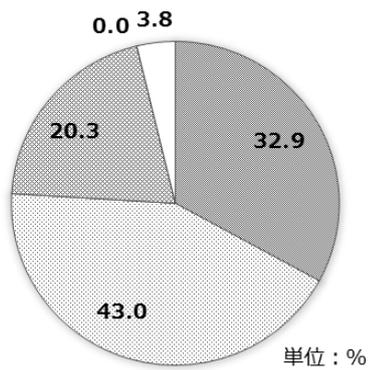
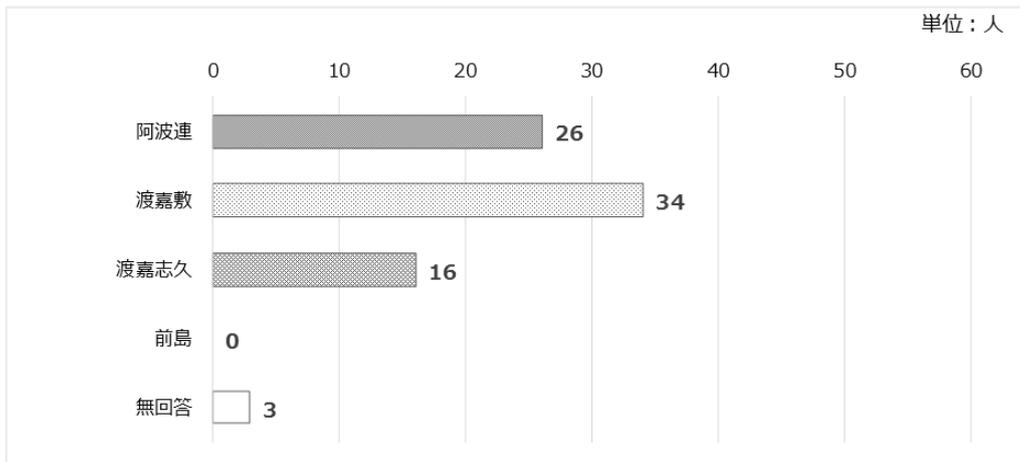
30歳以上60歳未満の回答が多く、全回答者の78.5%を占める。

渡嘉敷村の年代別人口割合（住民基本台帳平成26年1月1日時点）と20歳以上を対象に比較した場合、30歳未満と、70歳以上の回答者が割合としては少ない。



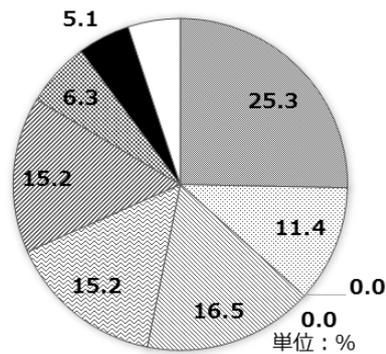
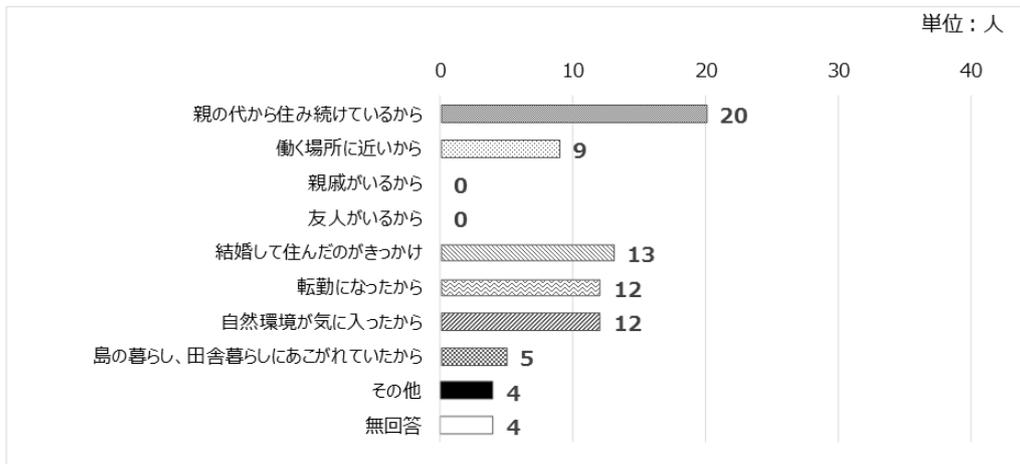
問3	あなたのお住まいの地区を教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	76人	無回答	3人

回答者の居住地区は渡嘉敷が最も多く、阿波連、渡嘉志久と続く。  
 渡嘉敷村の字別人口割合（住民基本台帳平成26年1月1日時点）は、字阿波連が31%、字渡嘉敷（渡嘉敷、渡嘉志久）が67%であり、回答者の居住地区の割合と重なり、偏りはないといえる。  
 なお、回答者が0人であった前島の人口は9人である。



問 4	渡嘉敷村に生まれている理由について教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総 数	79人	回答者数	75人	無回答	4人

「親の代から住み続けているから」が最も多く25.3%、次いで多いのが「結婚して住んだのがきっかけ」、「転勤になったから島の暮らし」、「田舎暮らしにあこがれていたから」であり、それぞれ15%程度であった。

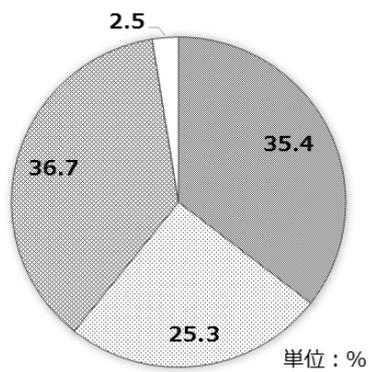
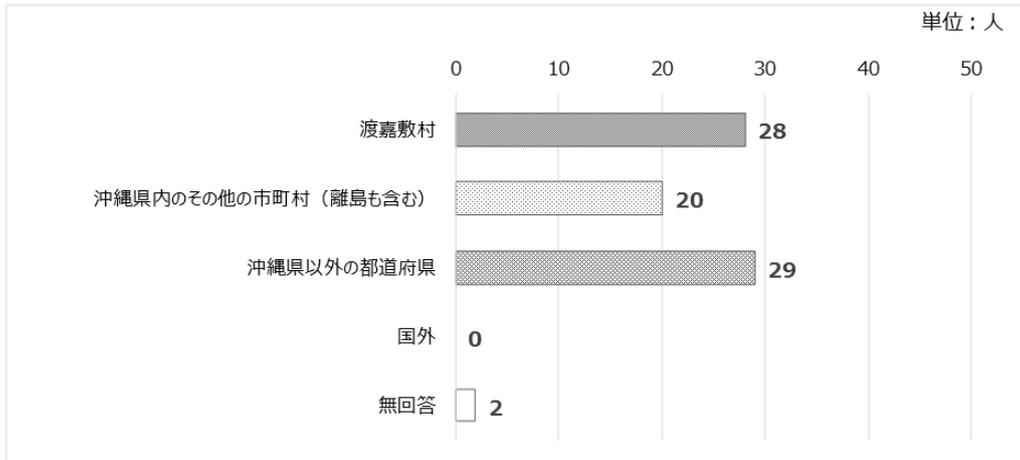


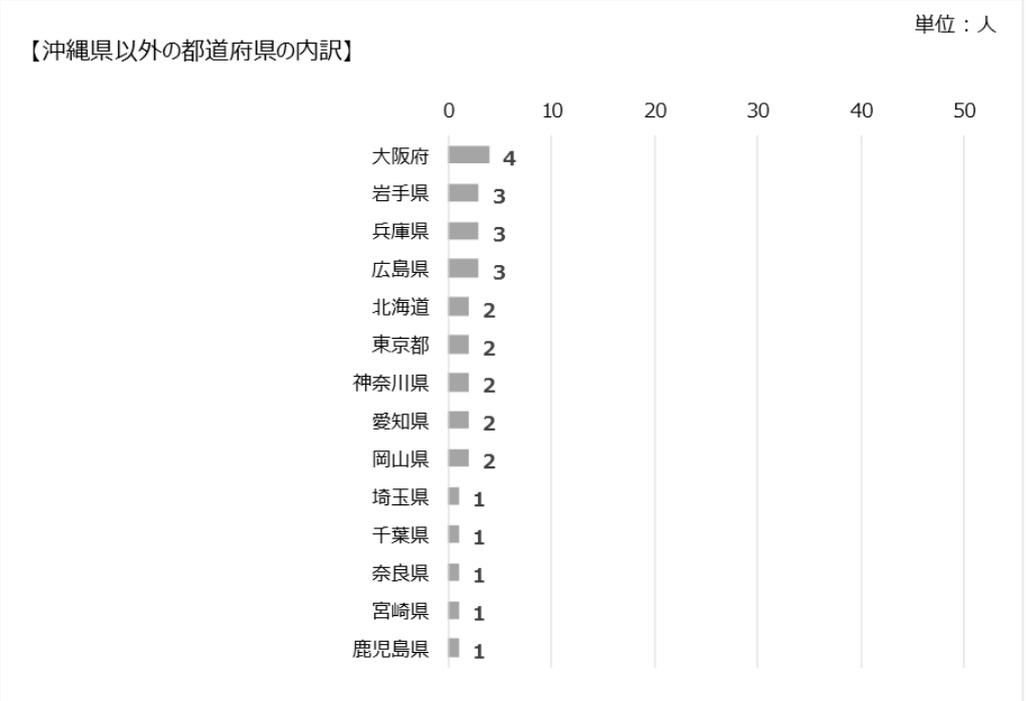
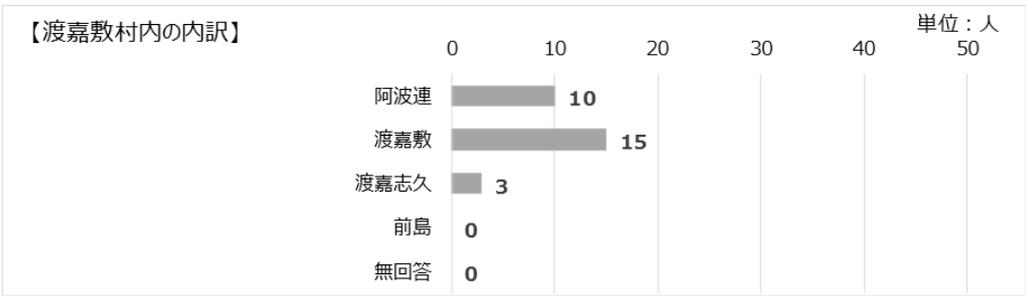
【その他の回答】

- ・自分の子どもが同じ県に住んでいる ・農園を楽しみに移り住んでいます。
- ・島で生まれ、島で育ち、島が好きだから ・この島が好きだから

問 5	あなたの出身地（生まれた場所）を教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総 数	79人	回答者数	77人	無回答	2人

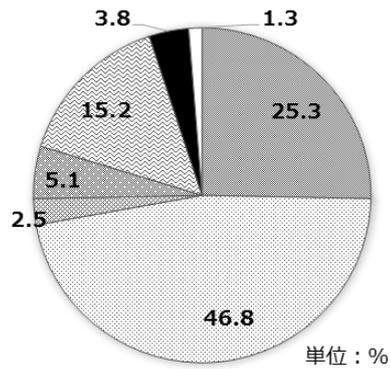
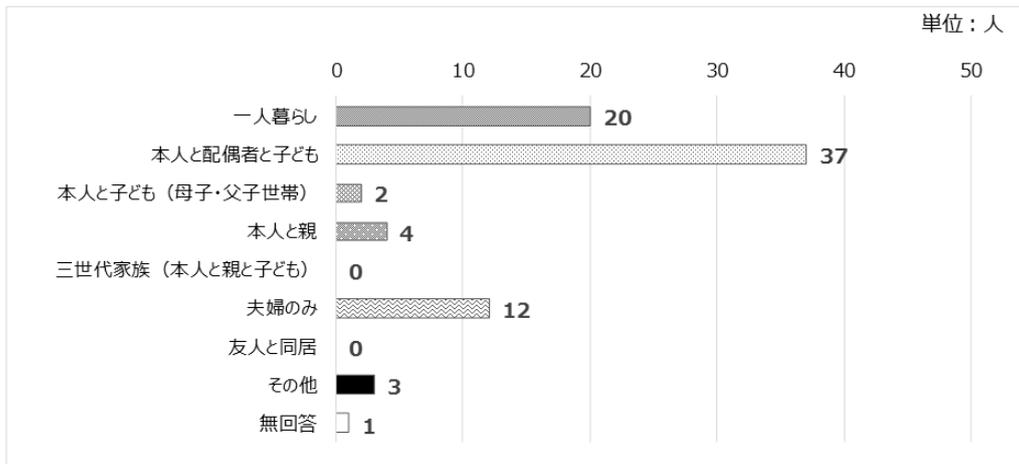
「沖縄県以外の都道府県」の出身者が最も多く36.7%、沖縄県内のその他の市町村の出身者も25.3%となっており、渡嘉敷村以外の出身者が6割と、回答者においては地元出身者以外が多い。  
「渡嘉敷村」の出身者は、回答者全体の35.4%であり、およそ3人に1人の割合であった。





問 6	あなたの家族形態を教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総 数	79人	回答者数	78人	無回答	1人

「本人と配偶者と子ども」が最も多く46.8%であり、「夫婦のみ」15.2%と合わせると、回答者の6割以上が既婚者であった。「一人暮らし」の割合も多く25.3%に上る。「三世代家族」は0件であった。

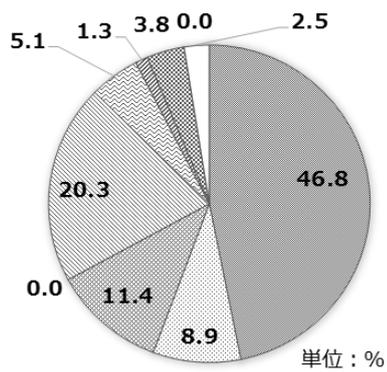
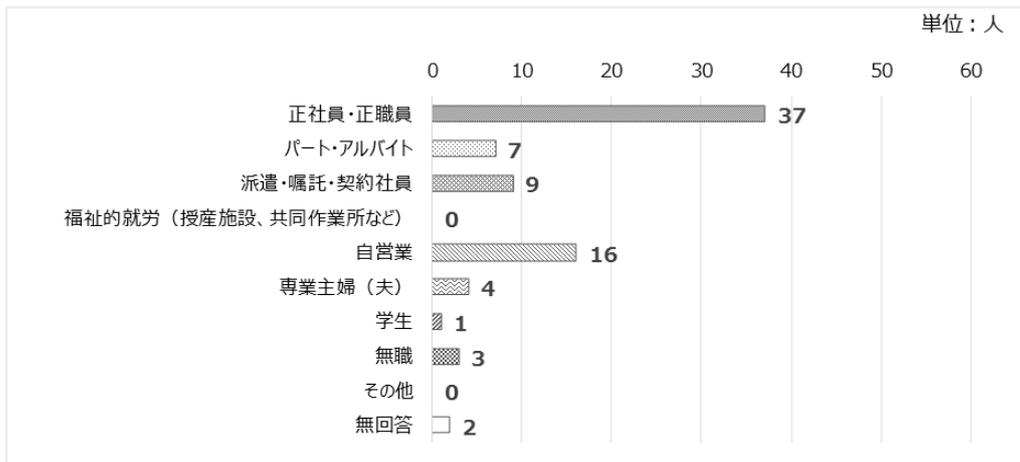


【その他の回答】

・単身赴任 ・本人と兄弟

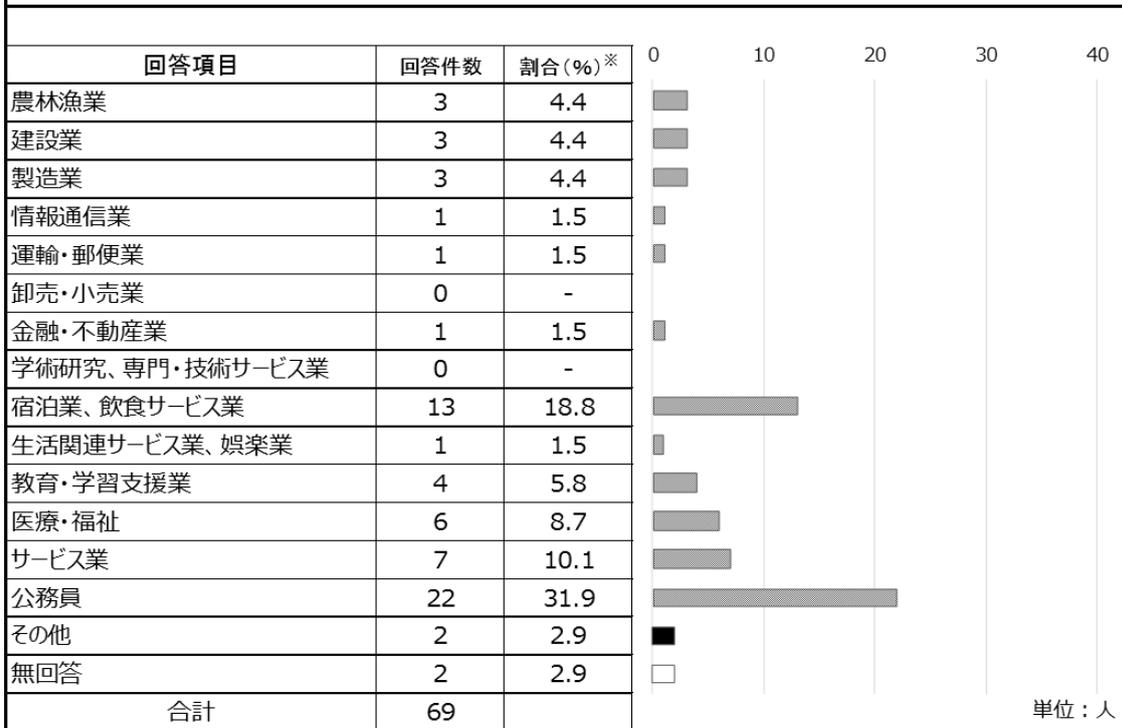
問7	あなたのお勤めの状況をご回答下さい。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	77人	無回答	2人

最も多いのは「正社員・正職員」で46.8%、次いで「自営業」が20.3%であった。  
「派遣・嘱託・契約社員」が11.4%、「パート・アルバイト」が8.9%で非正規雇用者の割合が、回答者の約2割を占める結果となっている。



問 8	問7で「正社員・正職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「福祉的就労（授産施設、共同作業所など）」「自営業」を選択した方にかがいます。 あなたのご職業をご回答ください。				
選択数	※一人1つを選択				
総 数	69人	回答者数	67人	無回答	2人

「公務員」が31.9%と最も多い。「宿泊業、飲食サービス業」が18.8%、「サービス業」が10.1%であり、観光関連の業種に従事している回答者の割合が3割近いと考えられる。



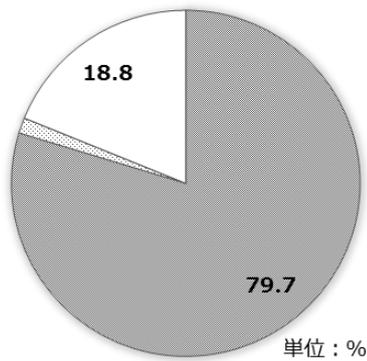
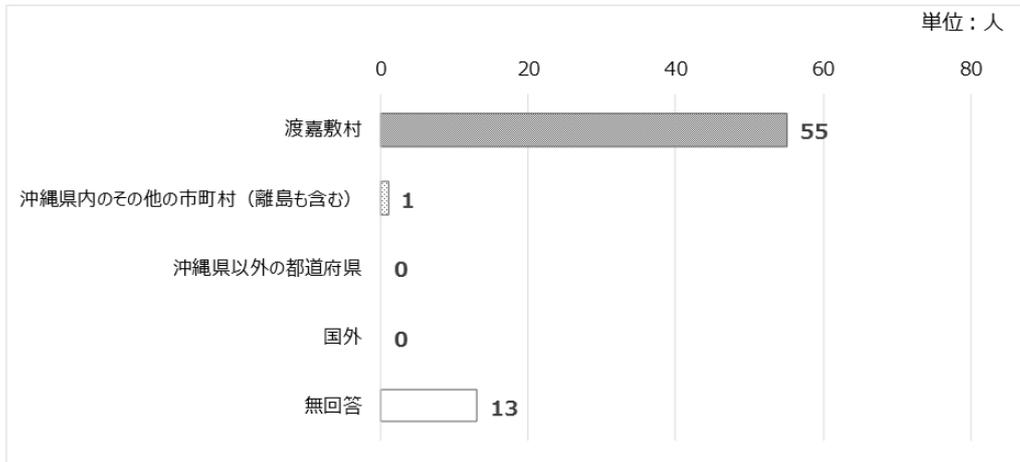
※割合(%)は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

・渡嘉敷村役場船舶課臨時職員

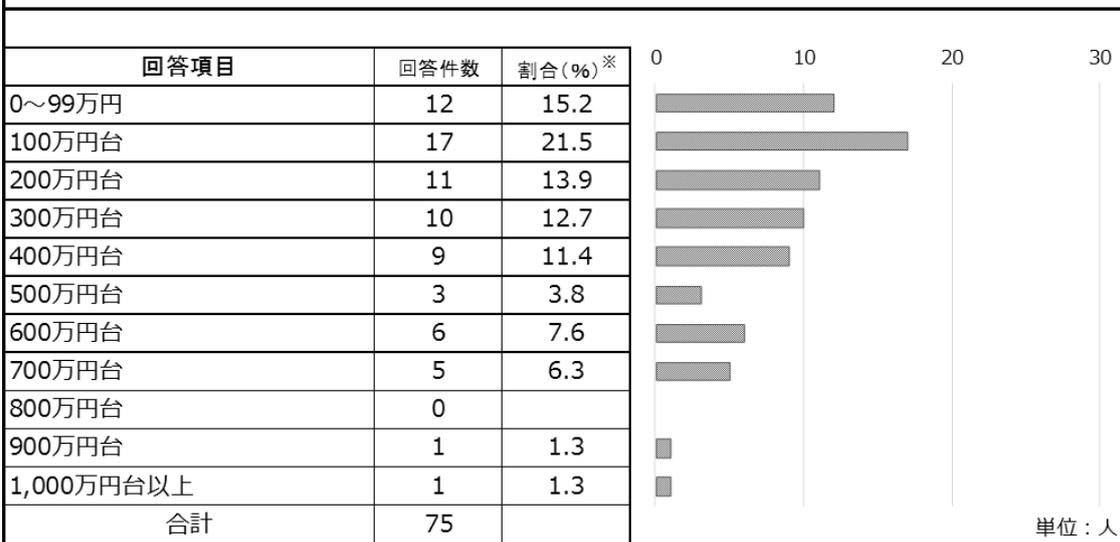
問9	問7で「正社員・正職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「福祉的就労（授産施設、共同作業所など）」「自営業」を選択した方にうかがいます。 あなたの職場はどこですか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	69人	回答者数	56人	無回答	13人

「渡嘉敷村」を職場とする回答者が約8割であり、比較的沖縄本島との交通の便が良い渡嘉敷島においても、離島の就職特性（課題）が顕著に見られる結果となった。「沖縄県内のその他の市町村」に通勤する人も1人見られた。「職場が渡嘉敷村内である」とした回答者においては、「渡嘉敷」が最も多く6割（33人）、次いで多いのが「阿波連」で約3割（17人）であった。



問10	あなたの昨年（平成26年）の年収を教えてください。非定期的なアルバイト、年金、生活保護等も含めて、昨年の年間合計額を回答してください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	75人	無回答	4人

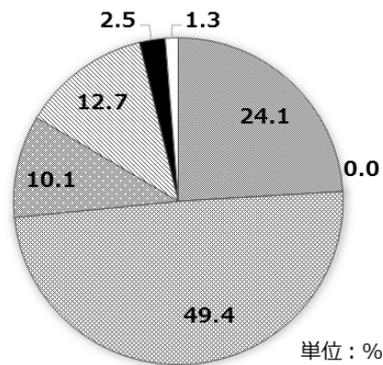
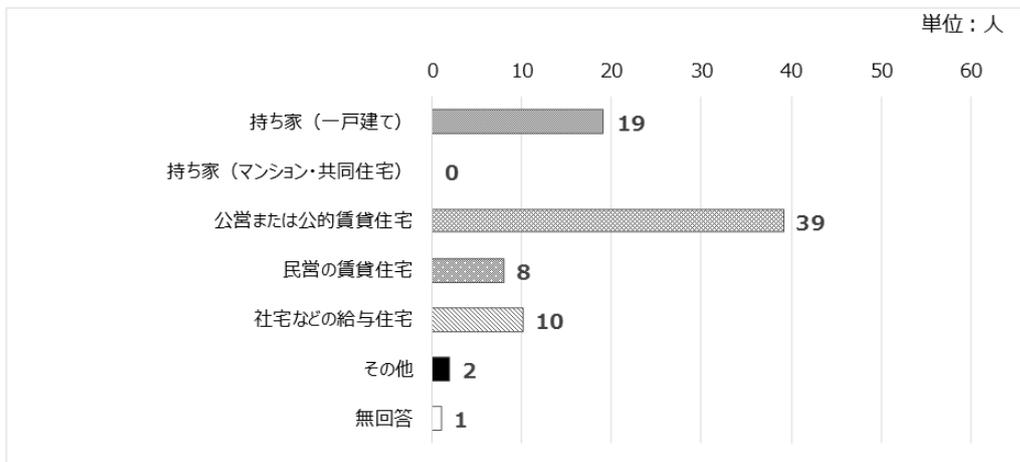
「100万円台」が最も多く21.5%である中、300万円以上は44.3%、500万円以上は20.3%と一定の収入がある回答者も見られ、収入格差があることが認められる。



※割合（%）は分母を総数で計算した値

問11	現在居住している住宅の種類をご回答ください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	78人	無回答	1人

「公営または公的賃貸住宅」がほぼ半数の49.4%であり、次いで多いのは「持ち家（一戸建て）」の24.1%であった。沖縄県全体では、持ち家と借家の割合はほぼ同数（持ち家:258,100世帯、借家:267,500世帯 平成25年住宅・土地統計調査）であることから、離島の特殊な住宅事情が垣間見える。

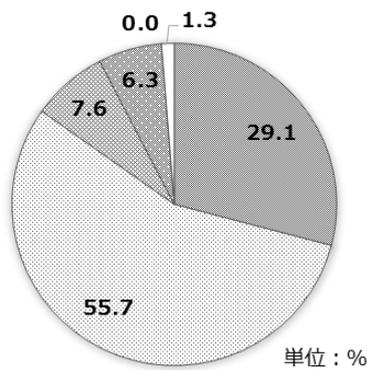
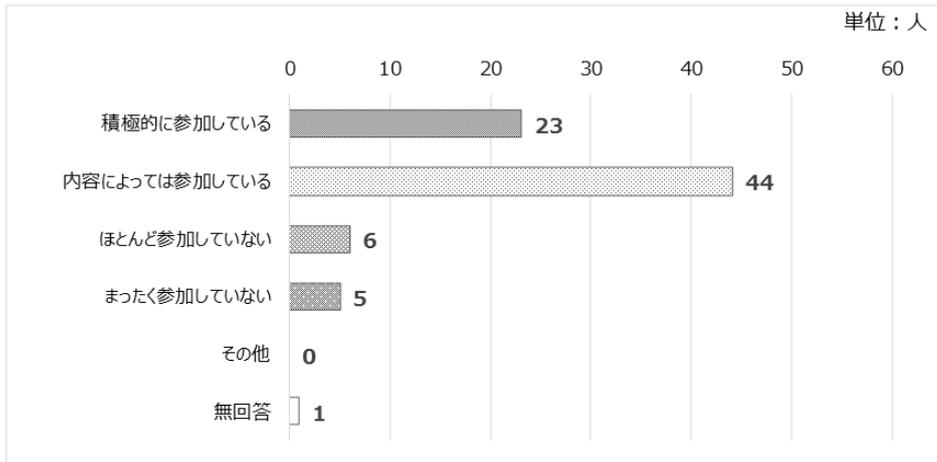


【その他の回答】

・親の持ち家 ・自宅がペンション

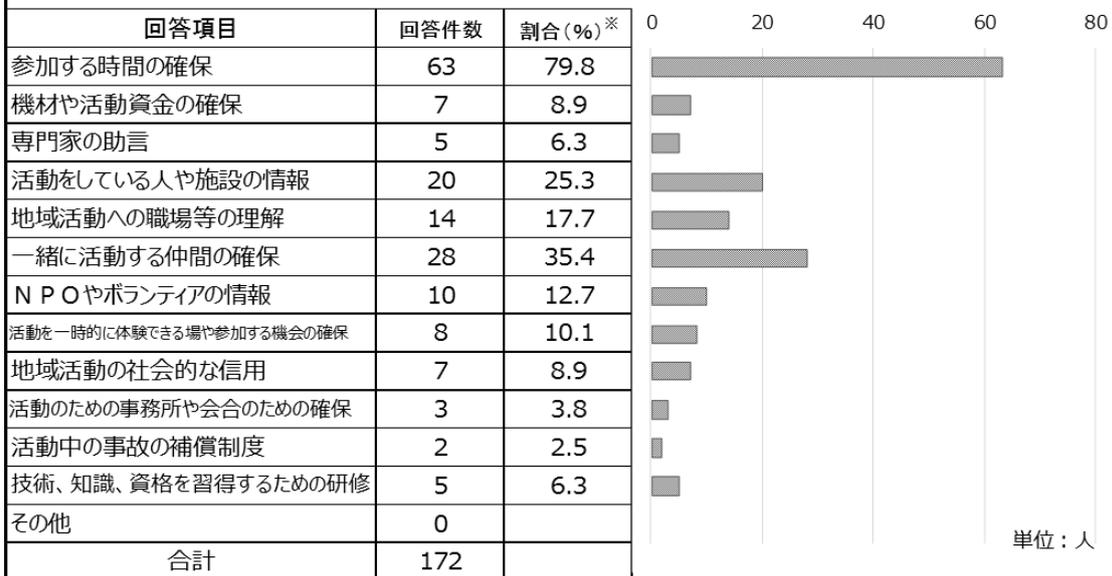
問12	あなたは現在、地域の活動（自治会、公民館活動、老人クラブなど）にどの程度参加していますか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	78人	無回答	1人

「内容によっては参加している」が半数以上の55.7%と最も多い。「積極的に参加している」が29.1%であることから、ほとんどの回答者（84.8%）が、地域活動に一定程度参加していると見られる。



問13	あなたが地域活動に取り組みやすくなるために必要なことはなんですか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	75人	無回答	4人
回答件数	172件				

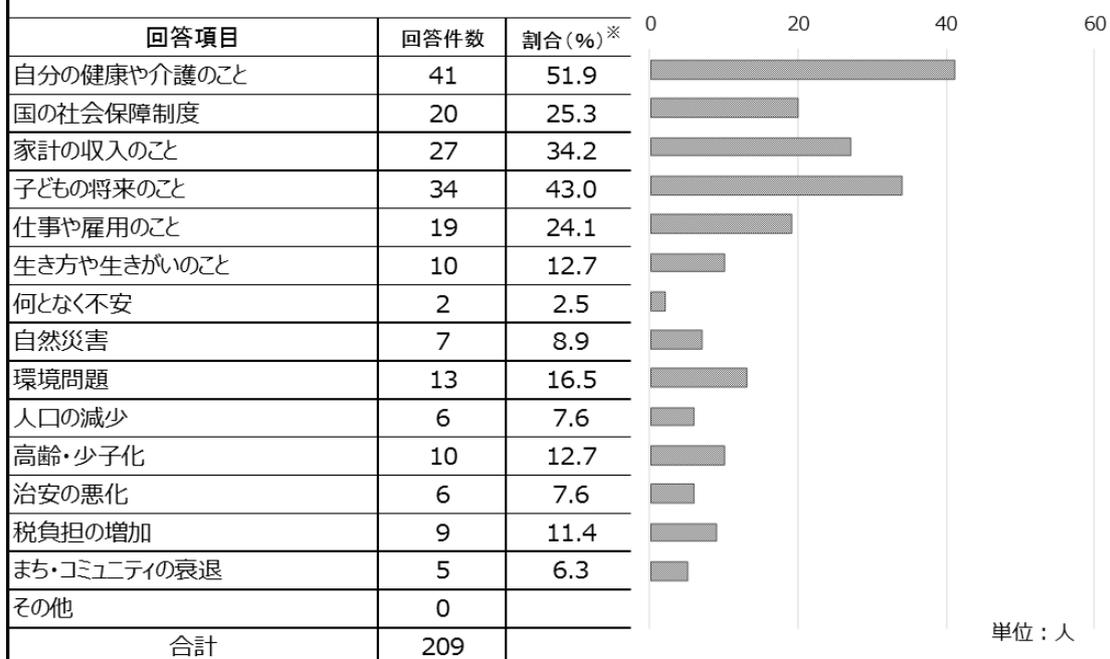
回答者の約8割が「参加する時間の確保」が難しいと考えている。「一緒に活動する仲間の確保」を回答者の35.4%が選択しており、地域活動の現場では人員不足が課題となっているようだ。「活動をしている人や施設の情報」を4人に1人が選択しており、情報の発信・共有が十分に図られていない可能性がある。



※割合(%)は分母を総数で計算した値

問14	あなたが将来に対して、どのようなことに不安を感じていますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	78人	無回答	1人
回答件数	209件				

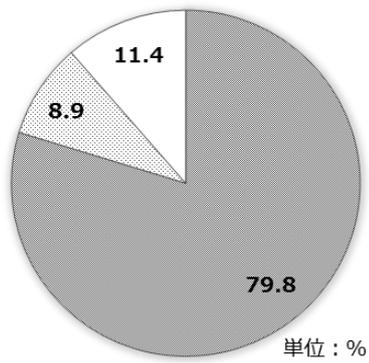
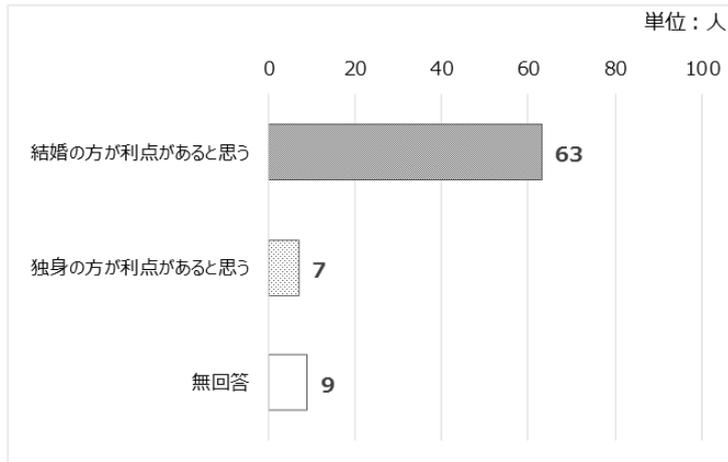
「自分の健康や介護のこと」が最も多く回答者の約半数が選択している。次いで多いのが、「子供の将来のこと」で43.0%、「家計の収入のこと」が3番目に多く34.2%となっている。どちらかという、社会的・公的な不安よりも、自身や家族のことに関する不安要素を選択する傾向が見られた。



※割合(%)は分母を総数で計算した値

問15	あなたにとって、結婚と独身、どちらにより利点があると思いますか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	70人	無回答	9人

「結婚の方が利点があると思う」が約8割を占め、独身派を大きく上回る結果となった。



問16-1	あなたが考える結婚のメリット・独身のメリットを教えてください。(結婚のメリット)				
選択数	※一人2つまで選択				
総数	79人	回答者数	72人	無回答	7人
回答件数	137件				

「自分の子どもや家族が持てる(55.7%)」と「精神的な安らぎの場が得られる(48.1%)」が多く、概ね回答者の二人に一人が選択している。「経済的に余裕が持てる」、「社会的な信用を得ることができる」は、回答者の2割未満にとどまった。

結婚のメリット

回答項目	回答件数	割合(%)※	0	20	40	60
経済的に余裕が持てる	14	17.7				
社会的信用を得ることができる	12	15.2				
精神的な安らぎの場が得られる	38	48.1				
愛情を感じている人と暮らせる	19	24.1				
自分の子どもや家族が持てる	44	55.7				
生活上便利になる	1	1.3				
親から独立できる	0	-				
親を安心させたり周囲の期待に応えられる	8	10.1				
その他	1	1.3				
合計	137					

単位：人

※割合(%)は分母を総数で計算した値

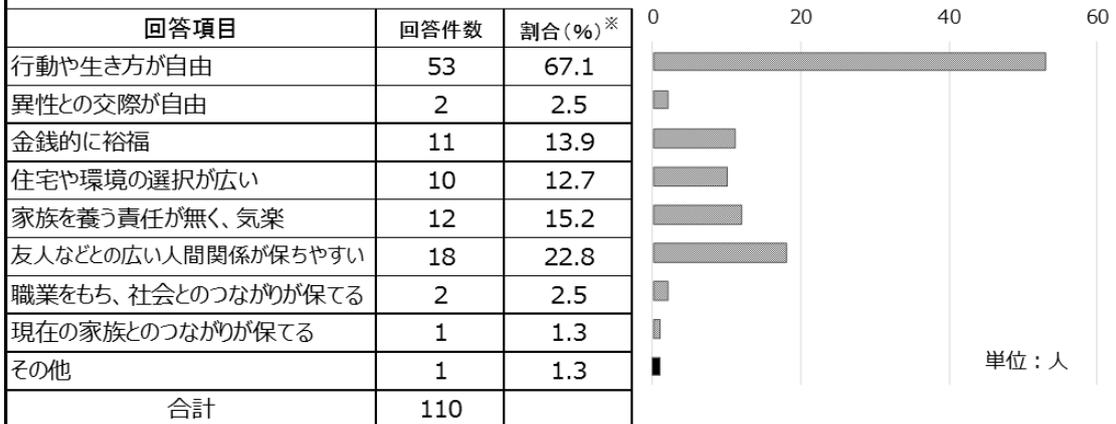
【その他の回答】

・豊かな人生になる

問16-2	あなたが考える結婚のメリット・独身のメリットを教えてください。(独身のメリット)				
選択数	※一人2つまで選択				
総数	79人	回答者数	61人	無回答	18人
回答件数	110件				

「行動や生き方が自由」が最も多く、回答者の7割近くが選択している。「友人などの広い人間関係が保ちやすい」と考える人も2割程度見られた。

独身のメリット



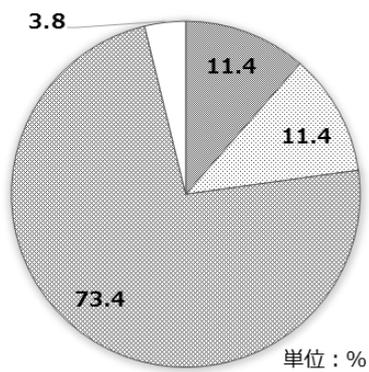
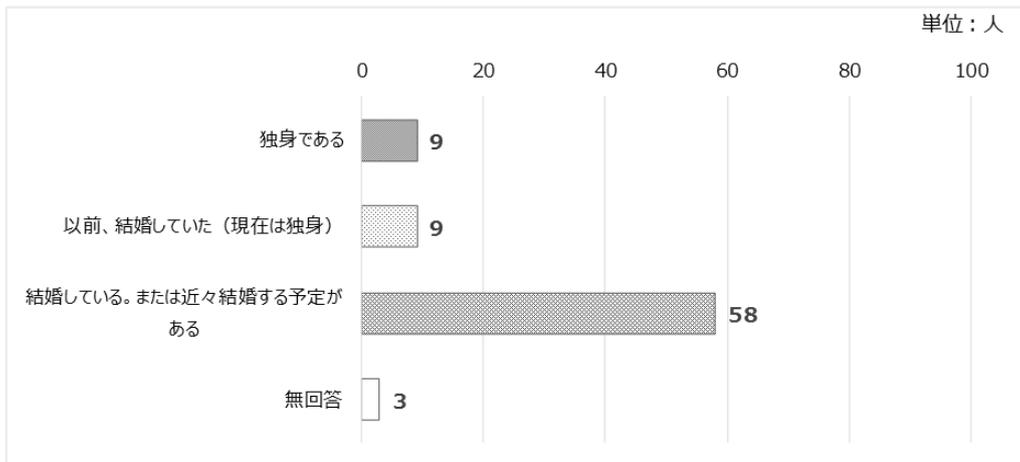
※割合(%)は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

- ・全て自分の時間として使える

問17	あなたは結婚されていますか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	76人	無回答	3人

「結婚している。または近々結婚する予定がある」と選択した既婚者・結婚予定者が、回答者の73.4%を占めた。現在、独身である方は22.8%であり、このうち半数が離婚経験者であった。



問18	問17で「独身である」「以前、結婚していた（現在は独身）」を選択した方にうかがいます。 あなたが、今現在、独身でいる理由を教えてください。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	18人	回答者数	18人	無回答	0人
回答件数	28件				

約3割が「適当な相手がないから」としており、「適当な相手がいれば結婚したい」（もしくは結婚してもよい）という潜在的な一定のニーズが伺える。  
これに対し、「今は仕事・学業に専念したいから」、「今は趣味や娯楽、自分の時間を大切にしたいから」、「結婚生活に希望が見いだせないから」、「相手はいるが結婚の条件が整わないから」といった自身の意思で独身を選択している回答者も、約4割見られた。

回答項目	回答件数	割合(%)※	0	10	20
結婚するには若すぎるから	0				
適当な相手がないから	8	28.6	■		
今は仕事・学業に専念したいから	4	14.3	■		
今は趣味や娯楽、自分の時間を大切にしたいから	2	7.1	■		
異性とうまくつきあえないから	2	7.1	■		
結婚生活に希望が見いだせないから	3	10.7	■		
相手はいるが結婚の条件が整わないから（金銭面・住居・親の同意等）	3	10.7	■		
親族の介護などで結婚できる環境ではないから	2	7.1	■		
その他	4	14.3	■		
合計	28				

単位：人

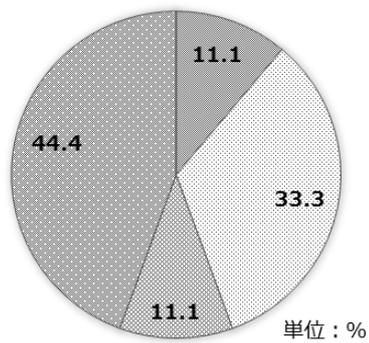
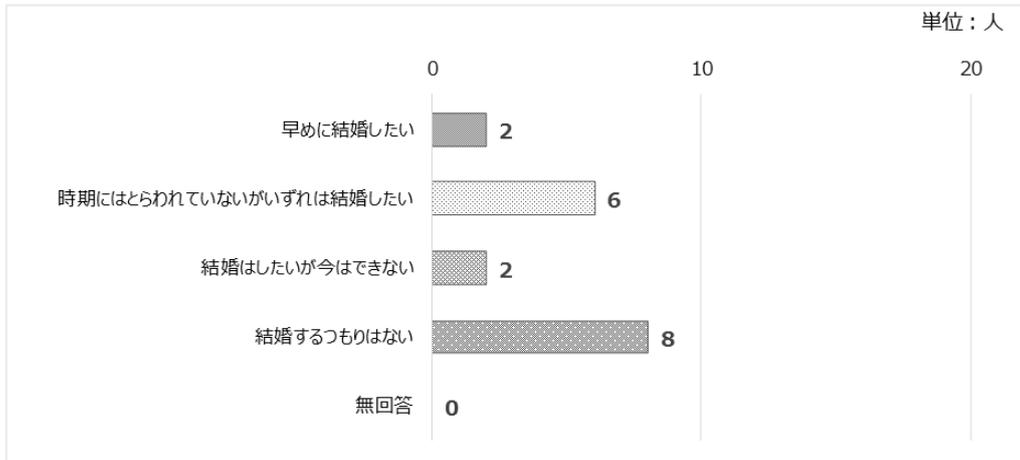
※割合（％）は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

・病気 ・学生 ・育児に専念しているから

問19	問17で「独身である」「以前、結婚していた（現在は独身）」を選択した方にうかがいます。 あなたの結婚についての考え方を教えてください				
選択数	※一人1つを選択				
総数	18人	回答者数	18人	無回答	0人

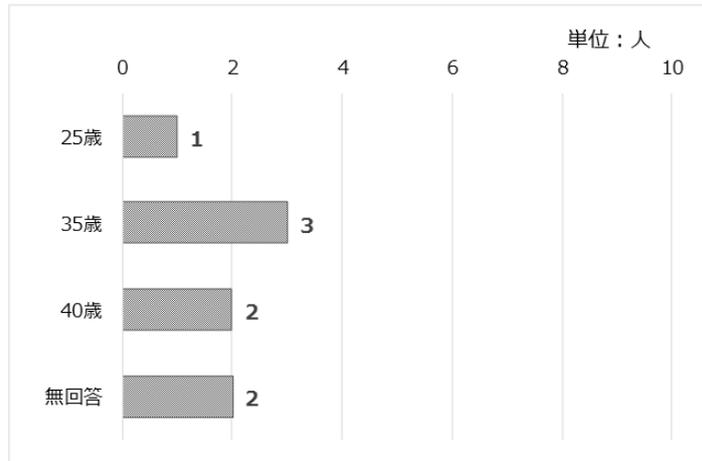
「結婚するつもりはない」が44.4%と最も多いが、他3回答の「結婚したい」を合計すると55.6%となり、結婚を希望する割合が上回った。



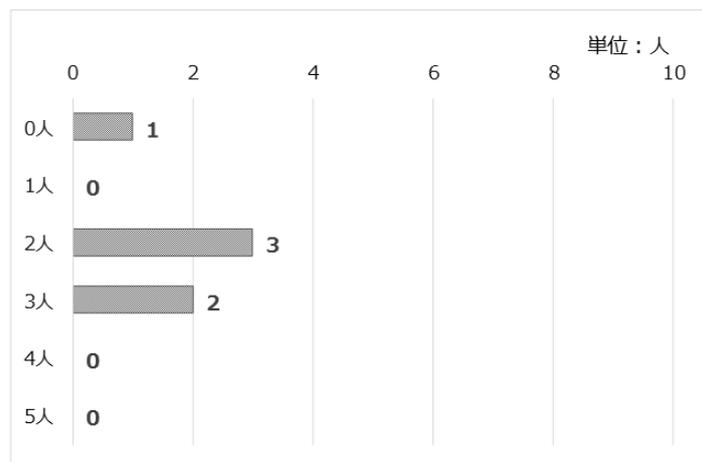
問20	<u>問19で「早めに結婚したい」「時期にはとられていないがいずれは結婚したい」を選択した方にうかがいます。</u> 何歳ぐらいまでに結婚したいと考えていますか。また、子どもは何人ほしいと考えていますか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	8人	回答者数	6人	無回答	2人

希望の結婚年齢は、35歳までに結婚したいが最も多く3件。遅くても40歳までには結婚したいと考えているようだ。欲しい子どもの人数は、2人が3件、3人が2件であった。子どもはつからないという回答も1件見られた。

【希望の結婚年齢】

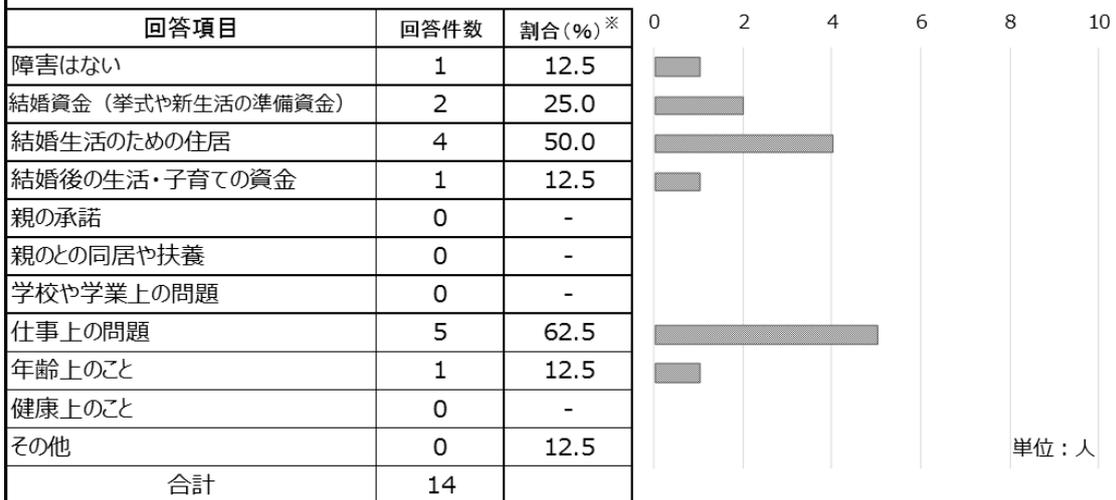


【ほしい子どもの人数】



問21	<u>問19で「早めに結婚したい」「時期にはとらわれていないがいずれは結婚したい」を選択した方にうかがいます。</u> 現在交際している人、あるいは結婚を考えてもよいパートナーが見つかった場合、1年以内に結婚するとすれば、何が障害になると思いますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	8人	回答者数	8人	無回答	0人
回答件数	14件				

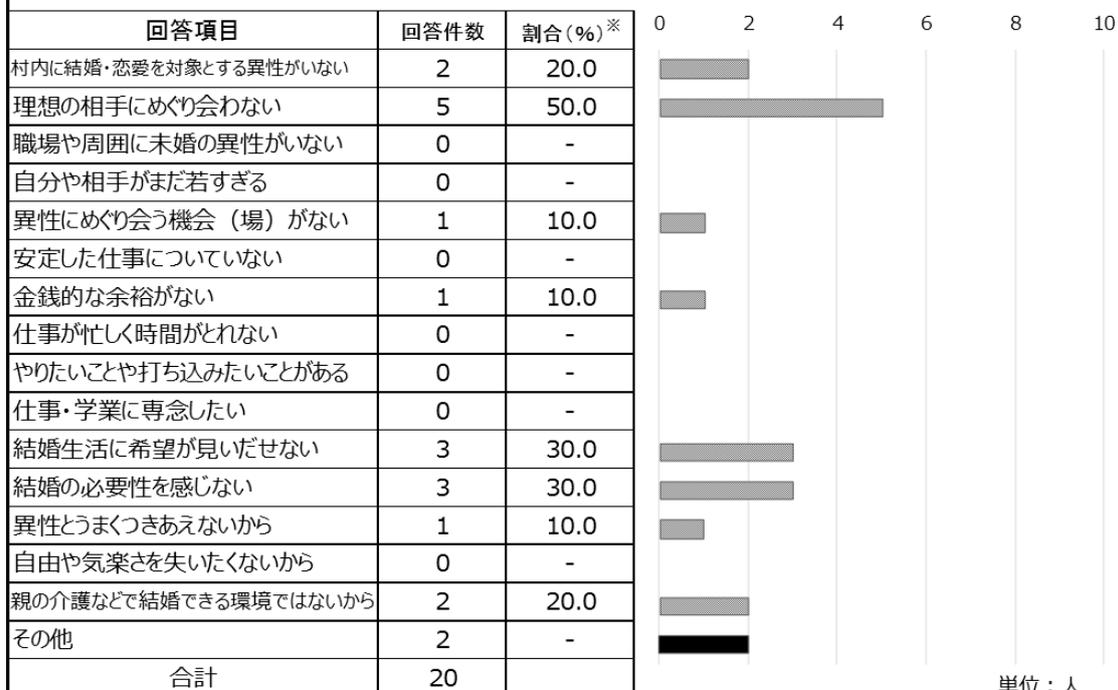
回答者の半数以上が、「仕事上の問題」(62.5%)と「結婚生活のための住居」(50.0%)を選択している。「障害はない」との回答は1件にとどまっており、結婚を希望する独身者の多くが、結婚に対するいずれかの障害を持っていることが明らかとなった。



※割合(%)は分母を総数で計算した値

問22	問19で「結婚はしたいが今はできない」「結婚するつもりはない」を選択した方にかがいます。 結婚しない理由、結婚できない理由を教えてください。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	10人	回答者数	10人	無回答	0人
回答件数	20件				

「理想の相手にめぐり合わない」を回答者の半数が選択しているのに対し、「結婚生活に希望が見いだせない」、「結婚の必要性を感じない」という、結婚に否定的な回答もそれぞれ3割ずつ認められた。  
「親の介護などで結婚できる環境ではないから」という回答も2割あり、介護負担が結婚にも影響していることが読み取れる。



※割合(%)は分母を総数で計算した値

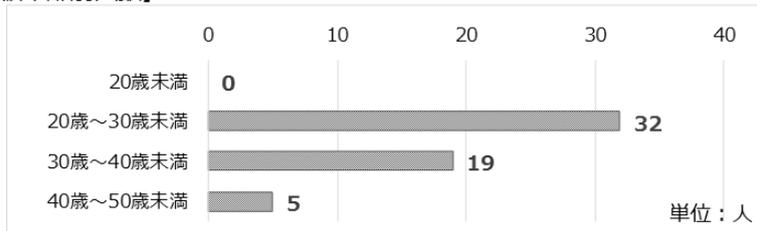
【その他の回答】

・高齢・病気

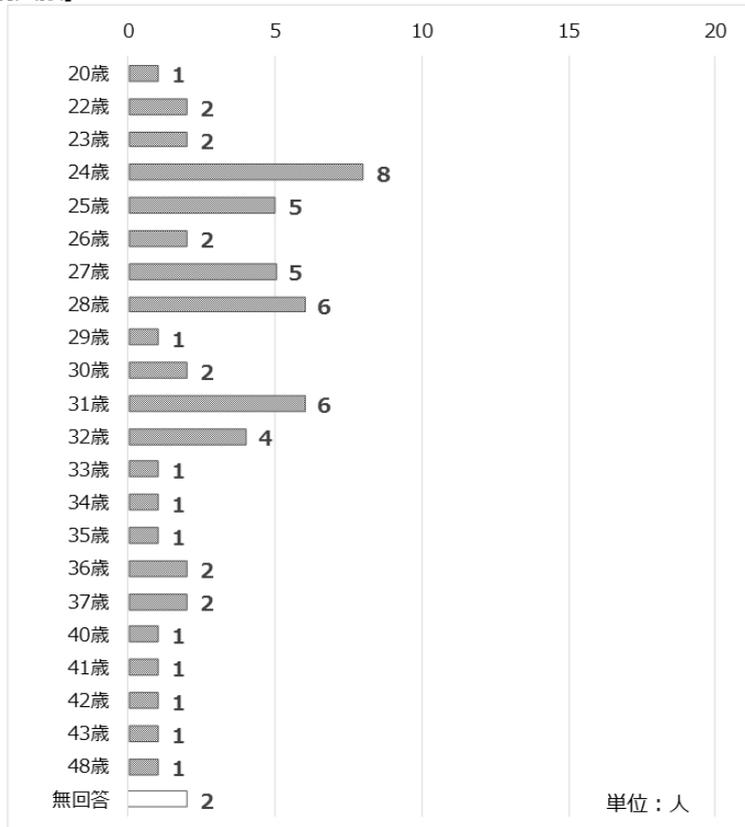
問23	問17で「結婚している。または近々結婚する予定がある」を選択した方にうかがいます。 あなたは何歳の時に結婚しましたか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	58人	回答者数	56人	無回答	2人

「4階級年齢別人数」においては、「20代」での結婚が最も多く32人（55.2%）、次いで「30代」が19人（32.8%）、40代での結婚は5人（8.6%）であった。  
全体としては、24歳から32歳の間の回答が多く、39人と全体の67.2%を占める。

【4階級年齢別人数】



【年齢別人数】

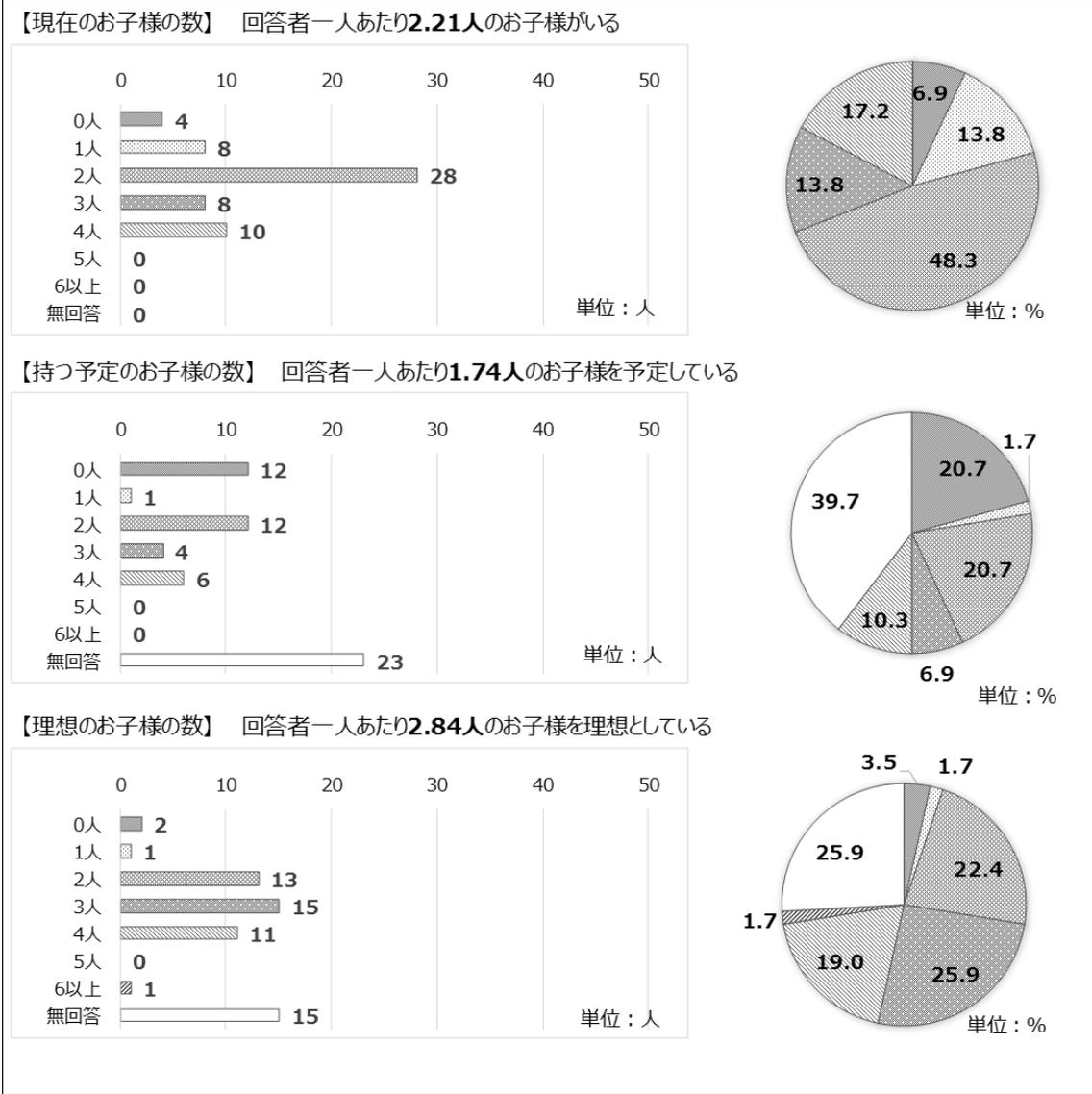


問24	問17で「結婚している。または近々結婚する予定がある」を選択した方にかがいます。 あなたは現在、お子様は何人おられ、最終的には何人のお子様を持つ予定ですか。また、理想とするお子様の数は何人ですか。それぞれ1つずつ○をつけてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	58人	回答者数	58人	無回答	0人

【現在のお子様の数】は、「2人」が最も多く48.3%で回答者の半数近くを占める。「3人（13.8%）」、「4人（17.2%）」の家庭も見られ、3人以上の子どもを持っているという回答者は約3割であった。また、子どもがいないという回答も4人見られた。

【持つ予定のお子様の数】は、「0人」と「2人」が12人と最も多い。【理想のお子様の数】は、「3人」が15人で最も多く、「2人」が13人、「4人」が11人であった。

回答者一人あたり（無回答を除く有効回答のみ）の平均回答人数を比較すると、理想とするお子様の数が2.84人と最も多く、現状のお子様の数、予定するお子様の数のいずれをも上回る結果となった。「本当はもっと子どもが欲しいが、実際にはいない、または予定できない」という現状が読み取れる。



問25	問24で「理想のお子様」より、「最終的に持つ予定のお子様」の数が少ない方にお尋ねします。 妨げになっている要因はなんですか。																																																																																																																																																													
選択数	※一人3つまで選択																																																																																																																																																													
総数	14人	回答者数	14人	無回答	0人																																																																																																																																																									
回答件数	28件																																																																																																																																																													
<p>「高齢出産になりリスクが高いから」が最も多く42.9%であった。「子育てや教育にお金がかかりすぎるから（35.7%）」と「収入上の問題があるから（28.6%）」との回答も多く、経済的な問題が理想とする家族構成の妨げとなっている。</p>																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答項目</th> <th>回答件数</th> <th>割合 (%) ※</th> <th>0</th> <th>2</th> <th>4</th> <th>6</th> <th>8</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てや教育にお金がかかりすぎるから</td> <td>5</td> <td>35.7</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから</td> <td>3</td> <td>21.4</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから</td> <td>1</td> <td>7.1</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>子どもがのびのび育つ環境ではないから</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>高齢出産になりリスクが高いから</td> <td>6</td> <td>42.9</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>健康上の理由から</td> <td>1</td> <td>7.1</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>ほしいけれどもできないから</td> <td>2</td> <td>14.3</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>自分や夫婦の生活を大切にしたいから</td> <td>2</td> <td>14.3</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>収入上の問題があるから</td> <td>4</td> <td>28.6</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>正規の職員ではない（派遣・嘱託・契約社員）ため、将来の仕事に不安があるから</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>保育所など預け先がないから</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>夫の家事育児への協力が得られないから</td> <td>3</td> <td>21.4</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>配偶者が望まないから</td> <td>1</td> <td>7.1</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>末子が夫の定年退職までに成人してほしいから</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> <td></td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位：人</p>						回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	2	4	6	8	10	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	5	35.7							自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	3	21.4							これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから	1	7.1							子どもがのびのび育つ環境ではないから	0	-							高齢出産になりリスクが高いから	6	42.9							健康上の理由から	1	7.1							ほしいけれどもできないから	2	14.3							自分や夫婦の生活を大切にしたいから	2	14.3							収入上の問題があるから	4	28.6							正規の職員ではない（派遣・嘱託・契約社員）ため、将来の仕事に不安があるから	0	-							保育所など預け先がないから	0	-							夫の家事育児への協力が得られないから	3	21.4							配偶者が望まないから	1	7.1							末子が夫の定年退職までに成人してほしいから	0	-							その他	0	-							合計	28							
回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	2	4	6	8	10																																																																																																																																																						
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	5	35.7																																																																																																																																																												
自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	3	21.4																																																																																																																																																												
これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから	1	7.1																																																																																																																																																												
子どもがのびのび育つ環境ではないから	0	-																																																																																																																																																												
高齢出産になりリスクが高いから	6	42.9																																																																																																																																																												
健康上の理由から	1	7.1																																																																																																																																																												
ほしいけれどもできないから	2	14.3																																																																																																																																																												
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	2	14.3																																																																																																																																																												
収入上の問題があるから	4	28.6																																																																																																																																																												
正規の職員ではない（派遣・嘱託・契約社員）ため、将来の仕事に不安があるから	0	-																																																																																																																																																												
保育所など預け先がないから	0	-																																																																																																																																																												
夫の家事育児への協力が得られないから	3	21.4																																																																																																																																																												
配偶者が望まないから	1	7.1																																																																																																																																																												
末子が夫の定年退職までに成人してほしいから	0	-																																																																																																																																																												
その他	0	-																																																																																																																																																												
合計	28																																																																																																																																																													
※割合 (%) は分母を総数で計算した値																																																																																																																																																														

問26	結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるために効果的な支援はどれだと思いますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	76人	無回答	3人
回答件数	202件				

「正規雇用の推進など若い世代の経済的な安定」、「夫婦がともに働き続けられる職場環境の充実」、「安定した雇用機会の提供」の3回答がほぼ同数で、回答者の半数以上が選択している。結婚を促す環境整備には、雇用の確保とともに、夫婦の共働きが継続できる職場環境の整備がおもな課題となっている。



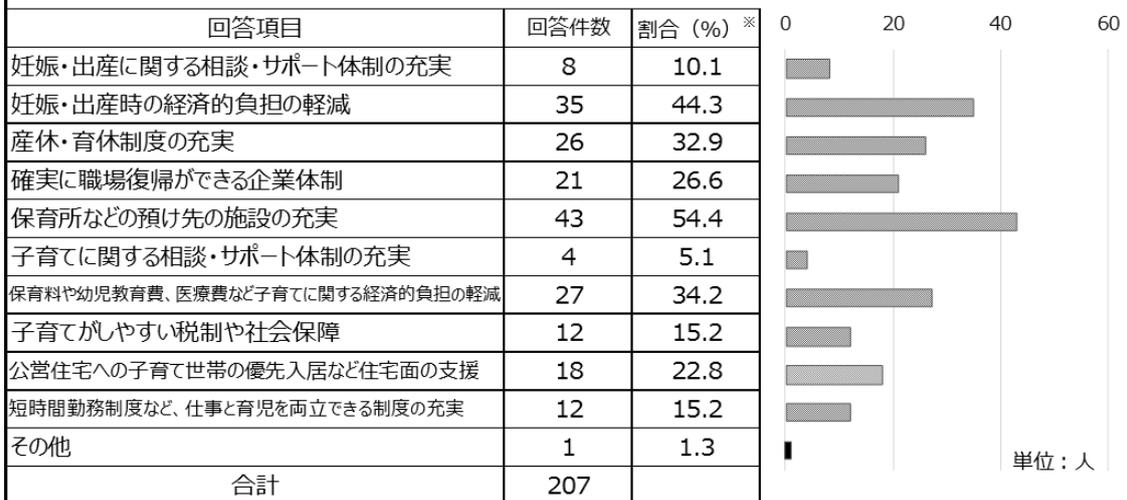
※割合 (%) は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

- ・最低賃金の向上 ・住宅の数（民）（公）ともに増やしてほしい
- ・子供の頃から両親共働きで、食卓を囲む習慣がなかった人達には家庭の大切さや家族の絆が浅く、結婚する必要性を感じていないのかなと思うことがあるので、子供の育て方から考えていきたいです。

問27	結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるために効果的な支援はどれだと思いますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	72人	無回答	7人
回答件数	207件				

「保育所などの預け先の施設の充実」が最も多く、回答者の約半数（54.4%）が効果的であると考えている。このほか、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が44.3%、「保育料や幼児教育費、医療費など子育てに関する経済的負担の軽減」が34.2%と、「経済的負担の軽減」が結婚を促進する環境整備に効果的であるとする声が多い。



※割合 (%) は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

・長いスパンを見通し、就学しやすいこと（経済的なこと）

問28	子育てしやすい環境をつくるために効果的な支援はどれだと思いますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	72人	無回答	7人
回答件数	197件				

「保育所などの預け先の施設の充実」が最も多く、回答者の約半数（48.1%）が、子どもの預け先が不足していると感じている。次いで多いのが「子どもの人数に応じた経済的な支援」（38.0%）であり、「子育てがしやすい税制や社会保障」（36.7%）、「育児や住宅に対する貸金貸与や補助支援」（30.4%）のように、経済的な支援が効果的であるとする意見が多数見られる。

回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	20	40	60
子育てを地域で見守るコミュニティの充実	22	27.9				
子育てに関する相談、サポート体制の充実	6	7.6				
育児に関するセミナーなどの開催	1	1.3				
育児休暇制度の充実（期間の延長など）	19	24.1				
男性の育児休暇取得の推奨	12	15.2				
子どもの人数に応じた経済的な支援	30	38.0				
保育所などの預け先の施設の充実	38	48.1				
企業による育休明けの働き方に関する支援	5	6.3				
子育てがしやすい税制や社会保障	29	36.7				
育児や住宅に対する貸金貸与や補助支援	24	30.4				
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保	11	13.9				
支援は必要ない	0	-				
その他	0	-				
合計	197					

単位：人

※割合 (%) は分母を総数で計算した値

問29	結婚、出産、子育てについてのご意見、少子化対策などに関するアイデアなどありましたらご自由にお書きください。
<p>子育て支援は、経済的支援・受け入れ先等施設面の支援両方ともに、どんなに厚くしても厚すぎることはないと思う。今の日本にとって少子化は最も優先的に解決すべき課題と思う。また、教育にかける予算が、低すぎる。もっと、国全体で子育てに対して、協力するべき。親の努力によるところばかりが大きすぎるから、責任感のある人は、そうそう3～4人産めなくなってしまう。もっと、安心して産めなくてはならない。(40代 女性)</p>	
<p>出産後、子供に何かあった場合、村内に小児科がない為、やむを得ず本島へ出る際の船賃の助成があると良いと思います。(子供が貧血の治療の為、本島の病院へかかっていた時、経済的負担がありました) 私の場合、本島に実家があるのでも泊まりになっても宿泊代はかかりませんが、そうでない方は宿泊もかかる為、船代とあわせると結構な負担になると思います。(20代 女性)</p>	
<p>結婚、出産、子育てについての根本的な妨げ要因は、就労問題に繋がると思います。支援金制度や助成金制度があるから結婚するとか、子どもを産むというのは、増加要因にはならないと思います。人間は安定した就労と収入、それによる経済的なゆとり、安心感みたいなものが確保されないと、結婚、出産まではなかなか踏み込めないでしょう。離島における人口減少は就労場所が乏しいからに尽きると思いますので、雇用創出に向けての産業振興、思い切った企業誘致等も人口増加の起爆剤になるのではないのでしょうか。(50代 男性)</p>	
<p>経済的に結婚する事に躊躇している世代がいるので、それを解決できれば良いと思う。(30代 男性)</p>	
<p>子供の教育のためにかかるお金が、自分の将来の貯えに大きく影響している。教育を受けたい子供は、親の収入・資力に関係なく、学ぶことができるように、国が責任をもつべき。国の行く未を案ずるのであれば、学びたい子は学べるようにする。それが最大急務の人材育成であると考え。(50代 男性)</p>	
<p>安定した働き場所の確保、及び住宅問題の解消(50代 男性)</p>	
<p>住宅の増をお願いします。(50代 男性)</p>	
<p>現在、村内の住宅不足が大きな問題だと思えます。若い方々から聞くと公務員で、年収が多い(安定)ため村営アパートに入れない夫婦がおり、現在、プレハブで生活しています。子供が出来ても育てる環境に不安だとの事です。空家や空地はあっても地主さん達は、なかなか手放さず、又、若い方々が手に入れ様にも資金がありません。今回のアンケートは、大変ありがたいと思います。行政懇談会や会議等でも出ている要望ですが、良い対策が取られていないのが現状です。現場の意見をもと聞いてほしいと思います。村有地も不足していると伺いましたが、公共施設を造る場合、三階、四階建てにして上階を賃貸住宅にするとか、色々工夫できるのではないかと思います。教員住宅を一階建てにするより(広い駐車場あり)三階建てにして一階駐車場二、三階を住居にするとか…。飲み会の場では、皆不満を出しますが、ちゃんと意見を聞く場や機会が少ないのかもしれないかもしれません。行政も本当になんとかしたいと真剣に取り組んでくれる職員を担当したらどうでしょうか。(50代 女性)</p>	
<p>不妊治療の支援金、または妊娠した妻や夫に対して、交通費(特に離島の場合、通院等での交通費を全額ないし半額免除のような体制)の援助等やってほしい。(30代 女性)</p>	
<p>子どもを産んだら、優遇される制度や子育てしやすい環境。ヨーロッパの様に多少税金をあげても福祉に力を入れてほしい。保育の仕事の地位向上をしてほしい。(40代 女性)</p>	
<p>離島においては0才児から保育できるようにしていかなければならないと思う。結婚、出産、子育ての前にまず住む環境を整備するのが大事。住宅事情の乏しい村で結婚なんてまず考えられない。衣・食・住の住は渡嘉敷では軽視していると思う。村営住宅で住宅ローン並みに家賃を払っている。退職までには1件家を購入できる状態です。(40代 女性)</p>	
<p>親が働くのももちろん大切だけど、一番大切なのは子供だと思う。子育てという親の目線だけでなく、子供にとって何が一番いいのかという視点は、親だけではなく、社会全体で考えていかないと、親は子供と余裕を持って接する時間がとれないと思う。職場の状況であまり許されないが、子供が体調をくずしやすいうちまでは、育休をとりたいし、残業なしで帰りたい。それが正社員だとなかなか許されないのが、仕事をやめてパートという形になる。この島でこのような状況になったわけではないが、本島ではそうだったので。家族と一緒にいられる時間が増えるといいなと思う。島だと親と子供の距離がいつも近いので幸せになると思う。(30代 女性)</p>	
<p>若者の交流の機会をつくる。(50代 男性)</p>	

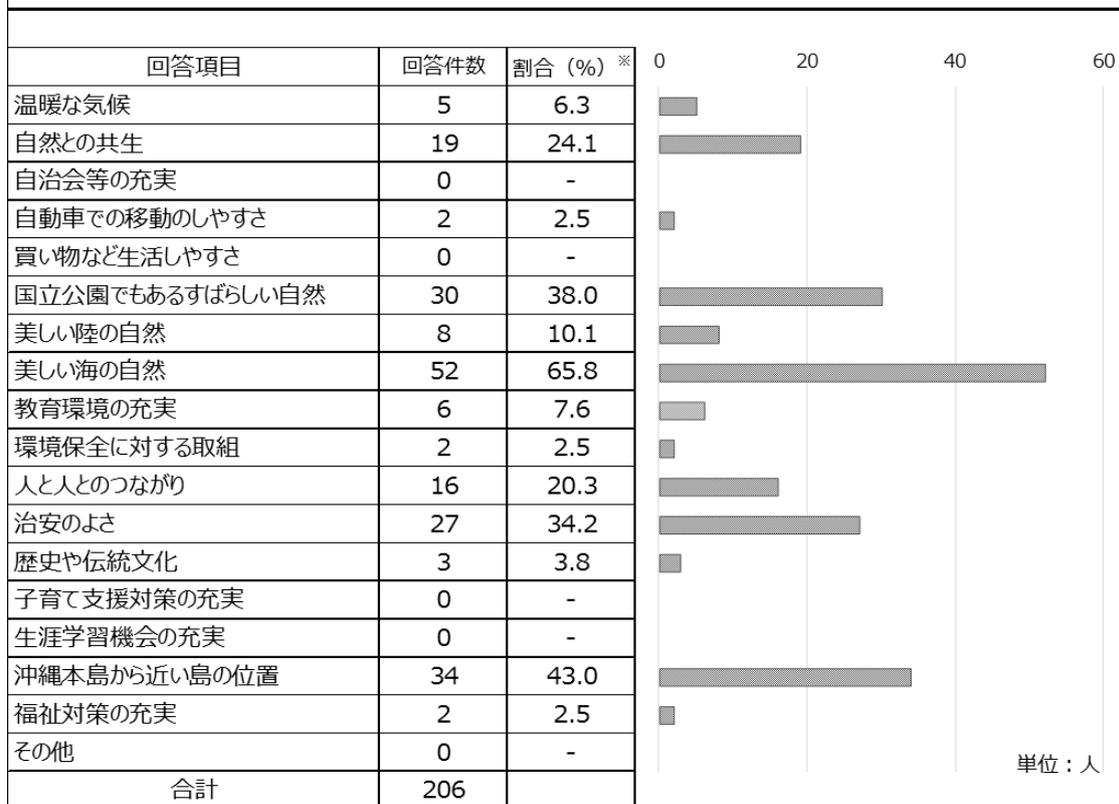
#### ④定住・移住に関するアンケート調査結果

問30	渡嘉敷村が自慢できるものは何だと思えますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	73人	無回答	6人
回答件数	206件				

「美しい海の自然」が最も多く、回答者の65.8%が選択している。自然に関する回答では、「国立公園でもあるすばらしい自然」(38.0%)、「自然との共生」(24.1%)も一定の支持を得ており、渡嘉敷村は美しく豊かな自然との暮らしが自慢できると考えている回答者が多い。

また、「沖縄本島から近い島の位置」が43.0%であり、他の周辺離島に比べてのアクセスの良さを背景とした生活利便性の高さや、沖縄本島からの観光誘導の強みなどを意識している回答者が多いようである。

「治安のよさ」(34.2%)と「人と人とのつながり」(20.3%)の結果からは、村(島)の住みやすさを伺うことができる。



※割合(%)は分母を総数で計算した値

問31	渡嘉敷村で生活するうえで不便を感じることはありますか。																																																																										
選択数	※一人3つまで選択																																																																										
総数	79人	回答者数	66人	無回答	13人																																																																						
回答件数	142件																																																																										
<p>「マイカーが無いと移動するのが不便」が最も多く回答者の半数以上（51.9%）が選択しており、「日常の移動のために必要なバスなどの公共交通が不便」も19.0%と、車を持たない方の代替交通である公共交通の利便性も低く、島内移動の利便性向上が課題であるようだ。</p> <p>「村内に働く場がなく就職先を探すのが不便」（35.4%）は、回答者の3人に1人以上が選択しており、雇用機会の創出が求められている。おもに村出身者のUターンの妨げとなっていることが伺える。</p> <p>「スーパーやコンビニなど、日常の買い物をする場所がなく不便」（31.7%）も多く、交通の便が良くない中で、さらに村内の限られた商店での購入を余儀なくされていることが、選択率の高さに繋がったと考えられる。</p>																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答項目</th> <th>回答件数</th> <th>割合 (%) ※</th> <th>0</th> <th>20</th> <th>40</th> <th>60</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の移動のために必要なバスなどの公共交通が不便</td> <td>15</td> <td>19.0</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>マイカーが無いと移動するのが不便</td> <td>41</td> <td>51.9</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>スーパーやコンビニなど、日常の買い物をする場所がなく不便</td> <td>25</td> <td>31.7</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>村内の小学校・中学校への通学が不便</td> <td>3</td> <td>3.8</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>子育て支援策などが不十分である</td> <td>13</td> <td>16.5</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>村内に働く場がなく就職先を探すのが不便</td> <td>28</td> <td>35.4</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>仕事を探す際に、求職の情報などがなく不便</td> <td>6</td> <td>7.6</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>パソコンを使って利便性を高めたいが、教えてくれる場所や人がいない</td> <td>11</td> <td>13.9</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>142</td> <td></td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位：人</p>						回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	20	40	60	日常の移動のために必要なバスなどの公共交通が不便	15	19.0					マイカーが無いと移動するのが不便	41	51.9					スーパーやコンビニなど、日常の買い物をする場所がなく不便	25	31.7					村内の小学校・中学校への通学が不便	3	3.8					子育て支援策などが不十分である	13	16.5					村内に働く場がなく就職先を探すのが不便	28	35.4					仕事を探す際に、求職の情報などがなく不便	6	7.6					パソコンを使って利便性を高めたいが、教えてくれる場所や人がいない	11	13.9					合計	142					
回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	20	40	60																																																																					
日常の移動のために必要なバスなどの公共交通が不便	15	19.0																																																																									
マイカーが無いと移動するのが不便	41	51.9																																																																									
スーパーやコンビニなど、日常の買い物をする場所がなく不便	25	31.7																																																																									
村内の小学校・中学校への通学が不便	3	3.8																																																																									
子育て支援策などが不十分である	13	16.5																																																																									
村内に働く場がなく就職先を探すのが不便	28	35.4																																																																									
仕事を探す際に、求職の情報などがなく不便	6	7.6																																																																									
パソコンを使って利便性を高めたいが、教えてくれる場所や人がいない	11	13.9																																																																									
合計	142																																																																										
※割合 (%) は分母を総数で計算した値																																																																											

問32	日常生活の買い物をごどのように行っていますか。買い物の種類のそれぞれについてお答えください。 (1) 肉、野菜、魚などの生鮮食品				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	74人	無回答	5人
回答件数	178件				

「村内の商店」が回答者の約9割（89.9%）を占める一方、「沖縄本島に行った際にまとめて買出し」が回答者の半数以上の55.7%、「生協の配達」も約4割（39.2%）と、村内の商店で手に入らないものは、沖縄本島に買出しに行くか、生協を利用し取り寄せている。

「インターネットでの通信販売」は、生鮮食品においても回答者の3割（29.1%）が利用しており、ネットスーパーのサービス拡大など、今後の増加が予想されるものの、利用できない環境にある方との格差拡大が懸念される。

回答項目	回答件数	割合 (%) ※	
村内の商店	71	89.9	
商店の配達を利用	0	-	
沖縄本島の友人・知人を通じて送ってもらう	2	2.5	
沖縄本島に行った際にまとめて買出し	44	55.7	
インターネットでの通信販売	23	29.1	
生協の配達	31	39.2	
カタログ等を使った通信販売	7	8.9	
その他	0	-	
合計	178		

単位：人

※割合 (%) は分母を総数で計算した値

問32	日常生活の買い物をごどのように行っていますか。買い物の種類のそれぞれについてお答えください。 (2) 生活雑貨などの日用品																																																																										
選択数	※一人3つまで選択																																																																										
総数	79人	回答者数	73人	無回答	6人																																																																						
回答件数	166件																																																																										
<p>「沖縄本島に行った際にまとめて買出し」が最も多く回答者の64.6%が選択しているほか、「インターネットでの通信販売」も45.6%が利用しており、村外での購入機会も多い。</p> <p>一方、「村内の商店」も回答者の58.2%が利用しており、まとめ買いができる（保存が効く）日用品は、商品によって買い分けをしていたり、本島に行く機会（必要）がある方やネットが利用できる方は、必要に応じてこれらの方法をとっていると見られる。</p> <p>「生協の配達」も26.6%と4人に1人程度が利用しているが、「生鮮食品」での利用（39.2%）に比べると利用の割合はやや下がる。</p>																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答項目</th> <th>回答件数</th> <th>割合 (%) ※</th> <th>0</th> <th>20</th> <th>40</th> <th>60</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村内の商店</td> <td>46</td> <td>58.2</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>商店の配達を利用</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>沖縄本島の友人・知人を通じて送ってもらう</td> <td>2</td> <td>2.5</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>沖縄本島に行った際にまとめて買出し</td> <td>51</td> <td>64.6</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>インターネットでの通信販売</td> <td>36</td> <td>45.6</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>生協の配達</td> <td>21</td> <td>26.6</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>カタログ等を使った通信販売</td> <td>10</td> <td>12.7</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>-</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>166</td> <td></td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位：人</p>						回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	20	40	60	村内の商店	46	58.2					商店の配達を利用	0	-					沖縄本島の友人・知人を通じて送ってもらう	2	2.5					沖縄本島に行った際にまとめて買出し	51	64.6					インターネットでの通信販売	36	45.6					生協の配達	21	26.6					カタログ等を使った通信販売	10	12.7					その他	0	-					合計	166					
回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0	20	40	60																																																																					
村内の商店	46	58.2																																																																									
商店の配達を利用	0	-																																																																									
沖縄本島の友人・知人を通じて送ってもらう	2	2.5																																																																									
沖縄本島に行った際にまとめて買出し	51	64.6																																																																									
インターネットでの通信販売	36	45.6																																																																									
生協の配達	21	26.6																																																																									
カタログ等を使った通信販売	10	12.7																																																																									
その他	0	-																																																																									
合計	166																																																																										
※割合 (%) は分母を総数で計算した値																																																																											

問32	日常生活の買い物をごどのように行っていますか。買い物の種類のそれぞれについてお答えください。 (3) 衣服などの衣料品				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	73人	無回答	6人
回答件数	118件				

「沖縄本島に行った際にまとめて買出し」が最も多く回答者の実に8割（81.0%）が選択している。「インターネットでの通信販売」が約4割（39.2%）、「カタログ等を使った通信販売」が約2割（20.3%）と通信販売の利用も一定数見られるが、衣料品は実際に手に取って（試着して）購入を判断したい回答者が多いようである。

回答項目	回答件数	割合 (%) ※	
村内の商店	2	2.5	■
商店の配達を利用	0	-	
沖縄本島の友人・知人を通じて送ってもらう	3	3.8	■
沖縄本島に行った際にまとめて買出し	64	81.0	■
インターネットでの通信販売	31	39.2	■
生協の配達	2	2.5	■
カタログ等を使った通信販売	16	20.3	■
その他	1	1.3	■
合計	118		

単位：人

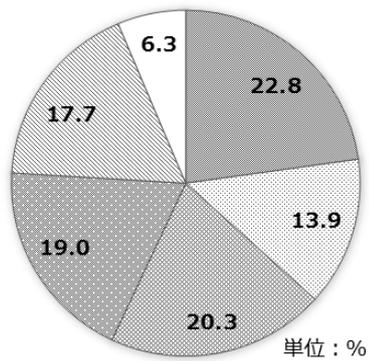
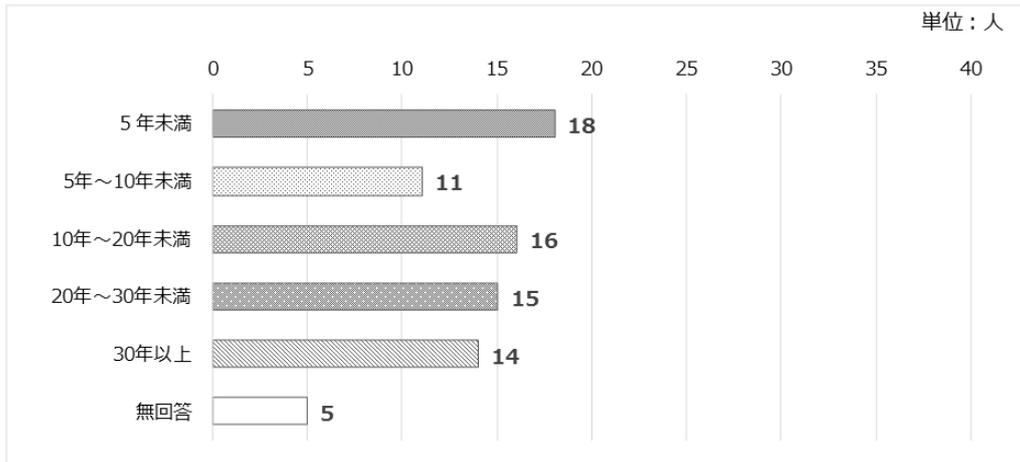
※割合 (%) は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

・沖縄本島

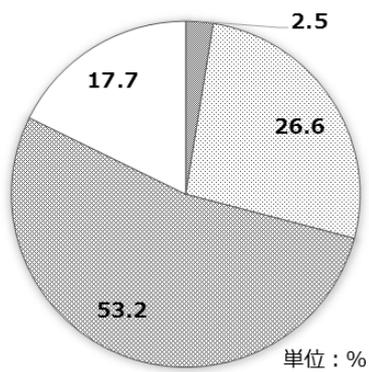
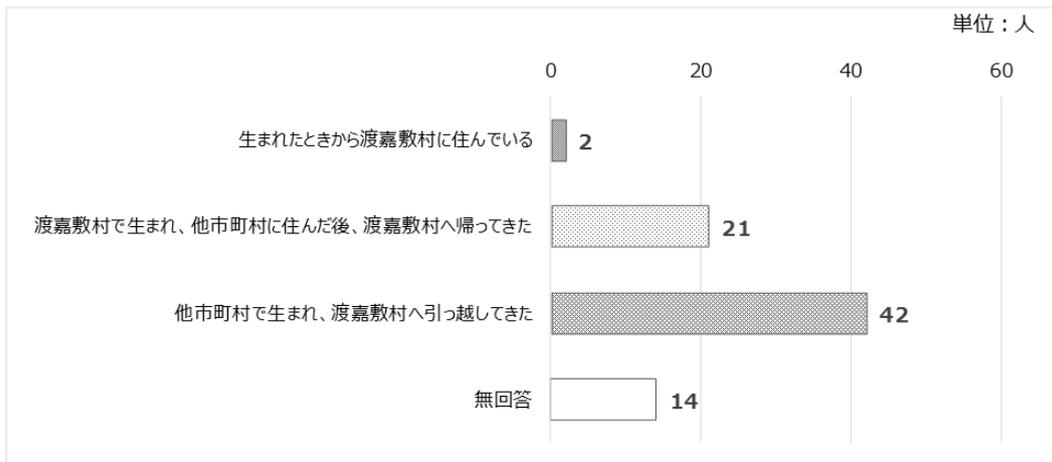
問33	あなたは渡嘉敷村で生活して何年になりますか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	74人	無回答	5人

「5年～10年未満」が13.9%と若干低いですが、年数の偏りはあまりなく、いずれの年数（5年区切り）も20%前後であった。わずかではあるが「5年未満」の回答者が最も多く、近年も村外からの移住者が一定して多い状況が伺える。



問34	あなたの居住歴を教えてください。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	65人	無回答	14人

「他市町村で生まれ、渡嘉敷村へ引っ越してきた」が最も多く回答者の半数以上（53.2%）であった。一方、「渡嘉敷村で生まれ、他市町村に住んだ後、渡嘉敷村へ帰ってきた」との回答は、村外移住者の約1/2（26.6%）であり、村外からの移住者の多さが伺える。



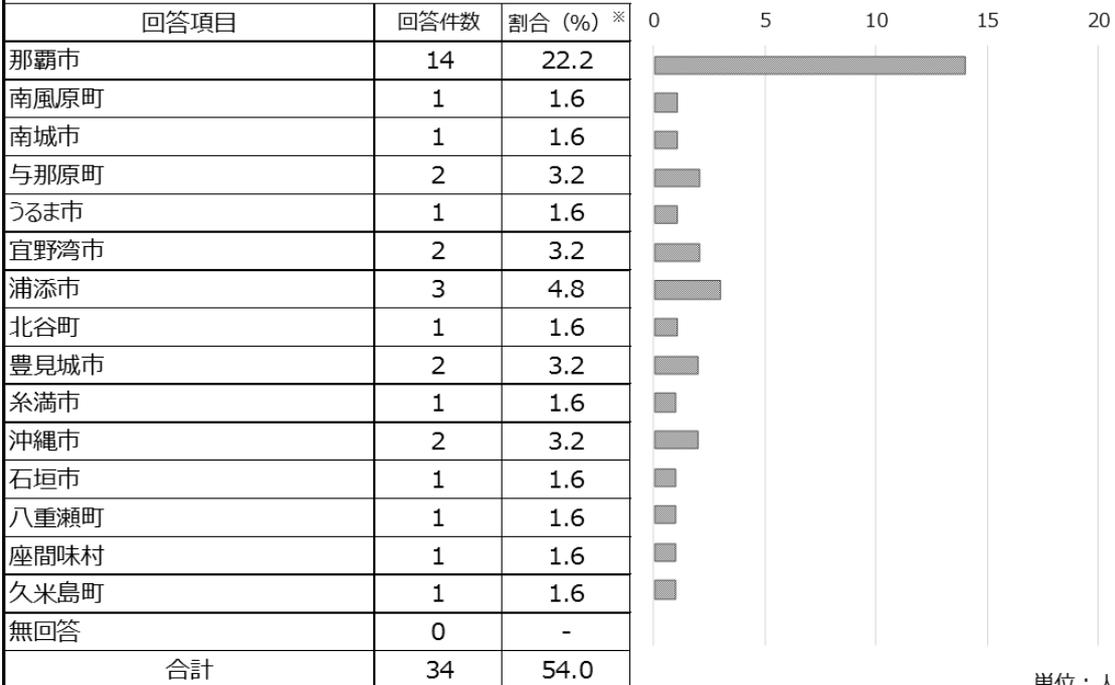
問35	問34で「 <u>渡嘉敷村で生まれ、他市町村に住んだ後、渡嘉敷村へ帰ってきた</u> 」「 <u>他市町村で生まれ、渡嘉敷村引っ越してきた</u> 」を選択した方にかがいます。 渡嘉敷村に引っ越す直前のお住まいはどちらでしたか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	63人	回答者数	62人	無回答	1人

「県内」と「県外」の割合はやや「県内」が多く54.0%であった（県外：44.4%）。  
 県内市町村の内訳としては、「那覇市」が最も多く22.2%、他の市町村は浦添、宜野湾など人口の多い市町村が続くが中南部の市町村がほとんどであった。石垣市、座間味村、久米島町といった離島からの移住者も見られる。  
 県外都道府県の内訳としては、関東では神奈川県（4件）、埼玉県（3件）、関西では大阪府（4件）、兵庫県（3件）といった府県が目立つが、北海道から鹿児島まで日本全国からの移住者が見られる。



※割合 (%) は分母を総数で計算した値

【県内市町村】



※割合 (%) は分母を総数で計算した値

【県外都道府県】			0	5	10	15	20
回答項目	回答件数	割合 (%) ※					
広島県	3	10.7	[Bar chart showing 3 units]				
兵庫県	3	10.7	[Bar chart showing 3 units]				
東京都	0	0.0	[Bar chart showing 0 units]				
鹿児島県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
滋賀県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
奈良県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
大阪府	4	14.3	[Bar chart showing 4 units]				
埼玉県	3	10.7	[Bar chart showing 3 units]				
神奈川県	4	14.3	[Bar chart showing 4 units]				
北海道	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
岡山県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
岐阜県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
岩手県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
宮崎県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
愛知県	2	7.1	[Bar chart showing 2 units]				
千葉県	1	3.6	[Bar chart showing 1 unit]				
合計	28	100.0					

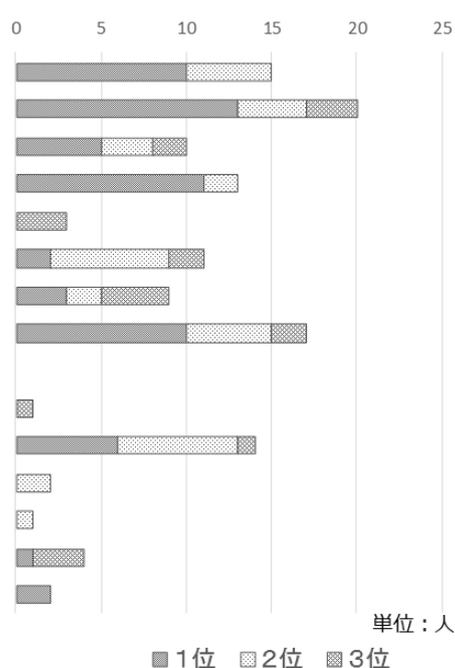
※割合 (%) は分母を総数で計算した値

単位：人

問36	<p><u>問34で「渡嘉敷村で生まれ、他市町村に住んだ後、渡嘉敷村へ帰ってきた」「他市町村で生まれ、渡嘉敷村へ引っ越してきた」を選択した方にかがいます。</u>          あなたが渡嘉敷村に引越してきたきっかけは何ですか。ご本人以外の理由も含めて、当てはまるものを優先順位が高い順に選んでください。</p>				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	63人	回答者数	63人	無回答	0人
回答件数	122件				

優先順位1位から3位までの選択肢の合計数の比較では、「転職のため」が最も多く回答者の31.8%が選択している。続いて「結婚または離婚のため」(27.0%)、「就職のため」(23.8%)、「家族、親族と同居又は近くに住むため」(22.2%)、「転勤のため」(20.6%)を回答者の2割以上が選択している。  
 優先順位1位のみで比較した場合、「転職」「転勤」「就職」と仕事に関わる理由で渡嘉敷村に引っ越してきた回答者が多くを占める。「結婚または離婚のため」を1位とする回答も10件(15.9%)と多く見られた。

回答項目	回答件数	割合 (%) ※
就職のため	15	23.8
転職のため	20	31.8
開業・創業のため	10	15.9
転勤のため	13	20.6
住宅事情のため	3	4.8
生活環境上の理由	11	17.5
子育て環境上の理由	9	14.3
結婚または離婚のため	17	27.0
通勤、通学が不便だったため	0	-
入学、進学、転校のため	1	1.6
家族、親族と同居又は近くに住むため	14	22.2
親、親族の介護のため	2	3.2
入院・入所のため	1	1.6
定年定職後(老後)のため	4	6.4
その他	2	3.2
合計	63	



※割合 (%) は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

- ・旅行で来て、島の空気感・大自然、素朴な暮らしにほれたから
- ・目的もなく

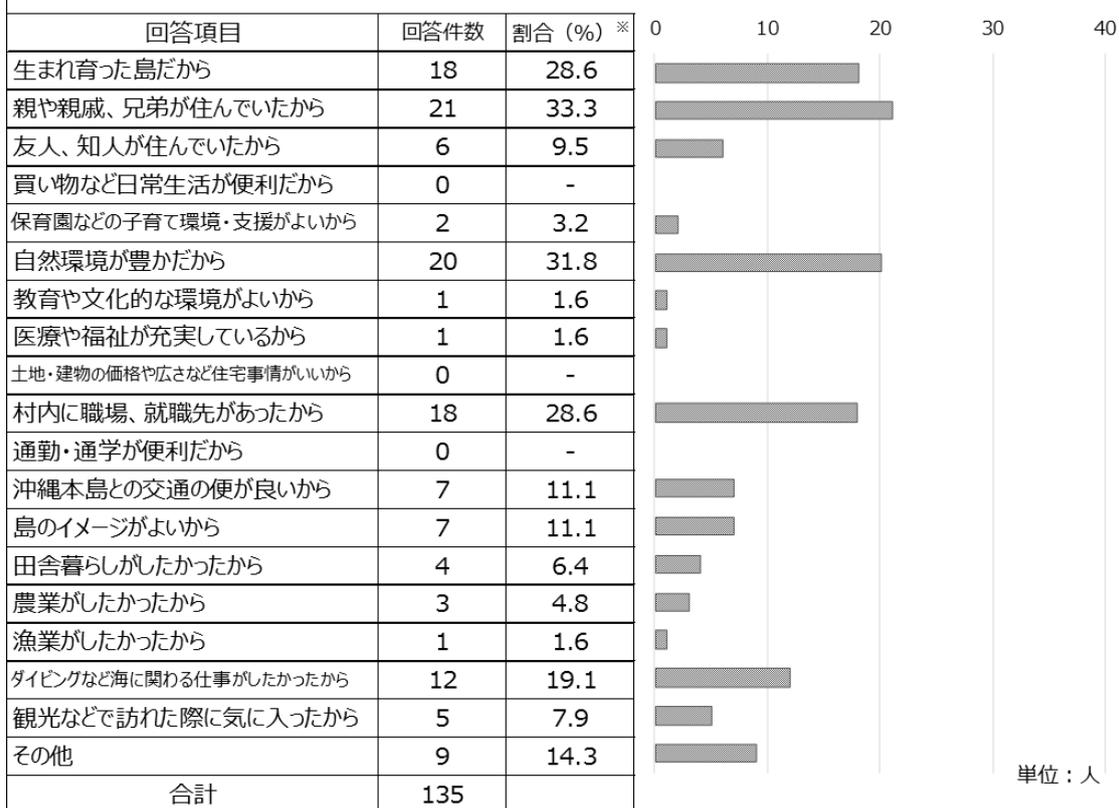
問37	問34で「渡嘉敷村で生まれ、他市町村に住んだ後、渡嘉敷村へ帰ってきた」「他市町村で生まれ、渡嘉敷村へ引っ越してきた」を選択した方にうかがいます。 転居するのに渡嘉敷村を選んだ理由をお聞かせ下さい。				
選択数	※一人いくつでも選択				
総数	63人	回答者数	52人	無回答	11人
回答件数	135件				

「親や親戚、兄弟が住んでいたから」（33.3%）が最も多く、「生まれ育った島だから」（28.6%）など、地元に戻り、縁者を頼っての移住者が多い。

「自然環境が豊かだから」（31.8%）も回答者の約3割が選択しており、渡嘉敷村の豊かな自然環境が移住を促進する要素であることが確認できる。

「村内に職場、就職先があったから」（28.6%）という回答も一定数見られるが、問31の結果「村内に働く場がなく就職先を探すのが不便」（35.4%）を鑑みると、雇用機会のニーズを満たすには至っていないと考えられる。

なお、「ダイビングなど海に関わる仕事があったから」が約2割（19.1%）見られ、ダイビング産業が移住を促す要因の一つとなっていることも本村の特徴と見られる。



※割合（%）は分母を総数で計算した値

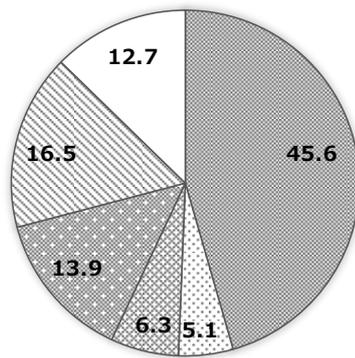
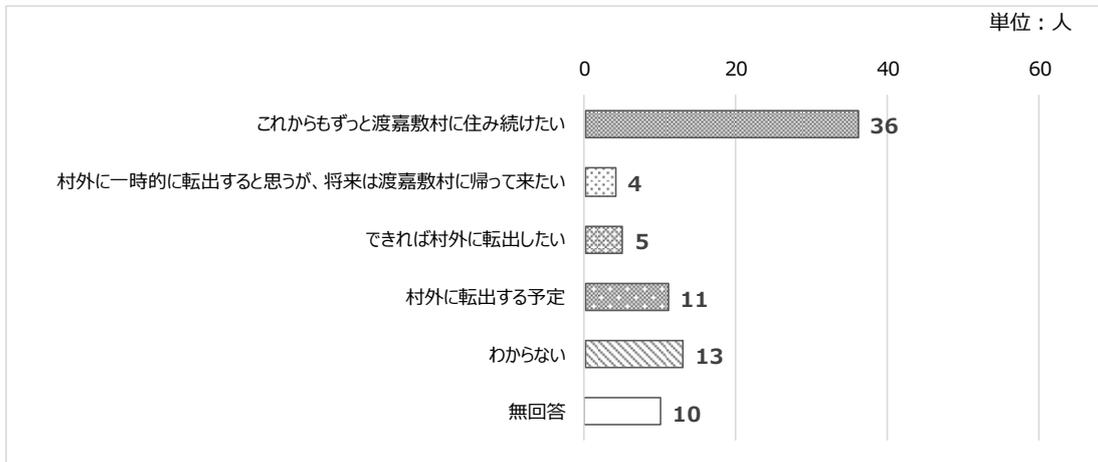
【その他の回答】

- ・配偶者の出身地 ・子供の近くに住むため ・本島で娘が暮らしている ・転勤（2） ・結婚
- ・転勤先だった（選べない） ・以前アルバイトで住んでいたから ・配偶者が住んでいる所だから

問38	<u>全ての方にうかがいます。</u> あなたは渡嘉敷村に今後も住み続けようとお考えですか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	79人	回答者数	69人	無回答	10人

「これからもずっと渡嘉敷村に住み続けたい」が最も多く45.6%であり、「村外に一時的に転出すると思うが、将来は渡嘉敷村に帰って来たい」（5.1%）と合わせても、渡嘉敷村に住みたい（帰って来たい）とする回答は、回答者の約半数にとどまった。

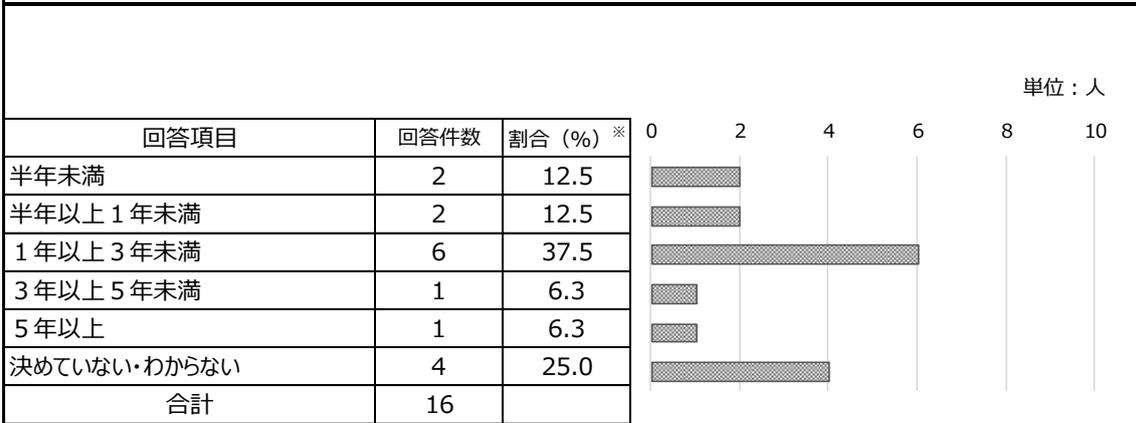
一方、「村外に転出する予定」は13.9%、「できれば村外に転出したい」は6.3%であった。



単位：%

問39	問38で「できれば村外に転出したい」「村外に転出する予定」を選択した方に伺います。 転出されるのは何年後をお考えですか				
選択数	※一人1つを選択				
総数	16人	回答者数	16人	無回答	0人

「1年以上3年未満」が最も多く37.5%であった。3年未満に村外に転出するとの回答が多く、回答者全体の62.5%であり村外への転出を現実的に考えている方が多い。一方、「決めていない・わからない」との回答も25.0%であり、漠然と村外への転出を考えている方も一定数見られる。

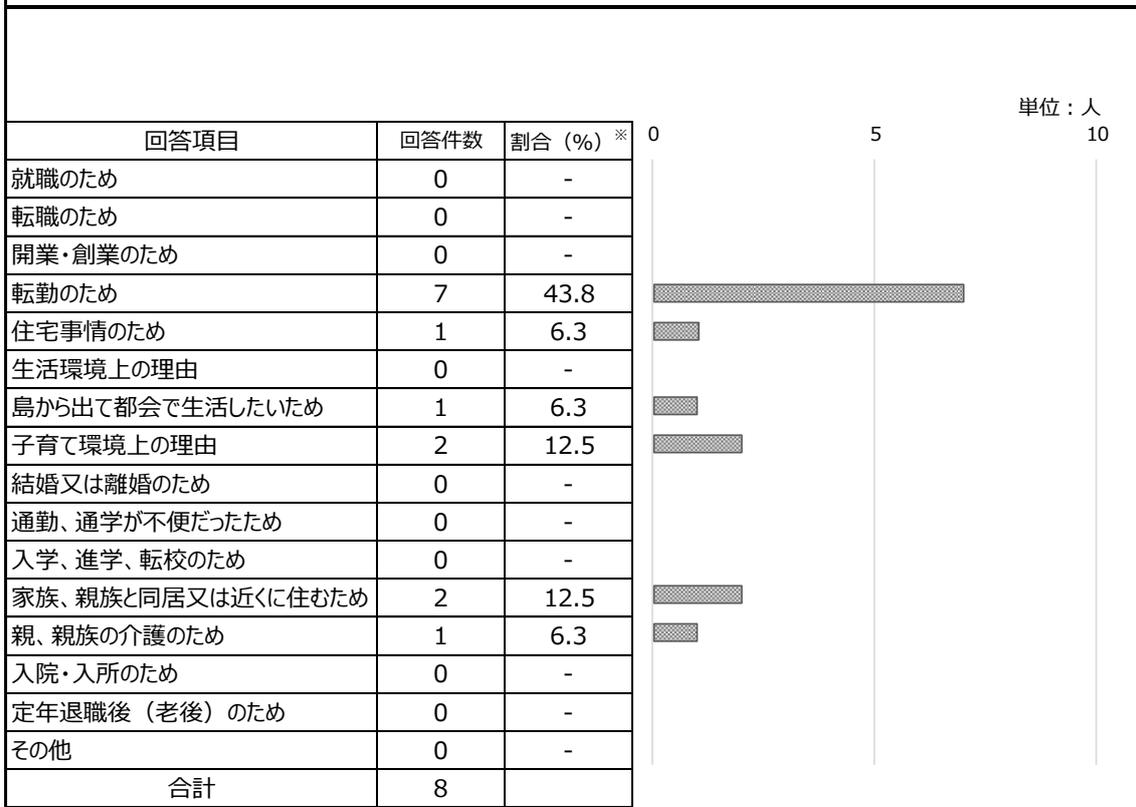


※割合 (%) は分母を総数で計算した値

問40	問38で「できれば村外に転出したい」「村外に転出する予定」を選択した方に伺います。 転出予定の地域、転出したい地域は、次のどれにあてはまりますか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	16人	回答者数	15人	無回答	1人
<p>「沖縄県内」が最も多く56.3%であり、「県外」を予定しているとの回答は1件（6.3%）であった。  「具体的に決まっていないが〇〇に転出したい」との回答を合計すると3割程度となり、渡嘉敷村から転出したいものの具体的な転出先は決まっていない方も見られる。</p>					
単位：人					
	回答項目	回答件数	割合 (%) ※	0                      5                      10	
	沖縄県内	9	56.3		
	県外	1	6.3		
	具体的に決まっていないが、沖縄県内の他の離島に転出したい	1	6.3		
	具体的に決まっていないが、県内の都市部に転出したい（沖縄本島の中南部）	2	12.5		
	具体的に決まっていないが、県外へ転出したい	1	6.3		
	具体的に決まっていないが、東京近辺の首都圏に転出したい	1	6.3		
	合計	15			
※割合 (%) は分母を総数で計算した値					
【沖縄県内】の詳細					
	回答項目	回答件数	割合 (%) ※		
	那覇市	3	33.3		
	豊見城市	1	11.1		
	うるま市	1	11.1		
	宜野湾市	1	11.1		
	沖縄市	1	11.1		
	無回答	2	22.2		
	合計	9			
【県外】の詳細					
	回答項目	回答件数	割合 (%) ※		
	滋賀県大津市	1	100.0		
	無回答	0	0.0		
	合計	1			

問41	問38で「できれば村外に転出したい」「村外に転出する予定」を選択した方に伺います。 転出を考えた・転出するきっかけはなんですか。				
選択数	※一人1つを選択				
総数	16人	回答者数	8人	無回答	8人

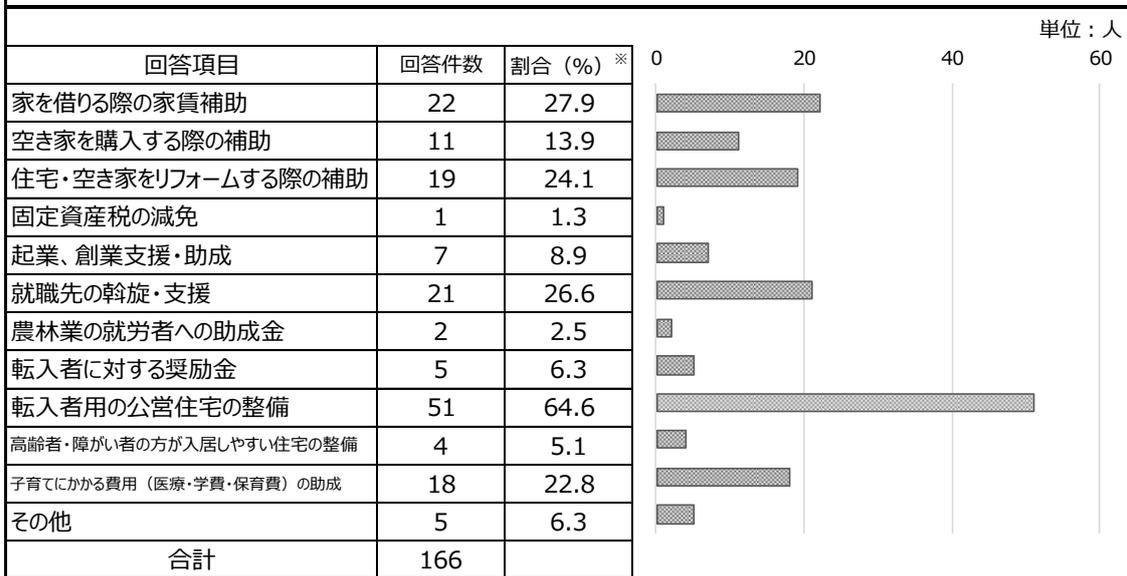
「転勤のため」が最も多く43.8%であり、会社や勤め先の都合による転出が多くを占める。  
次いで多いのは「子育て環境上の理由」と「家族、親族と同居又は近くに住むため」の12.5%であった。



※割合 (%) は分母を総数で計算した値

問42	<u>全ての方にかがいます。</u> 渡嘉敷村への転入者を増やすための効果的な支援はどれだと思いますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	67人	無回答	12人
回答件数	166件				

「転入者用の公営住宅の整備」が最も多く、回答者全体の64.6%が選択している。  
 経済的な支援・補助に関しては、「家を借りる際の家賃補助」(27.9%)、「住宅・空き家をリフォームする際の補助」(24.1)「子育てにかかる費用(医療・学費・保育費)の助成」(22.8%)と、家賃やリフォーム、子育てへの補助が効果的であるとの意見が多い。  
 「就職先の斡旋・支援」(26.6%)も多く、回答者の約1/4が選択している。



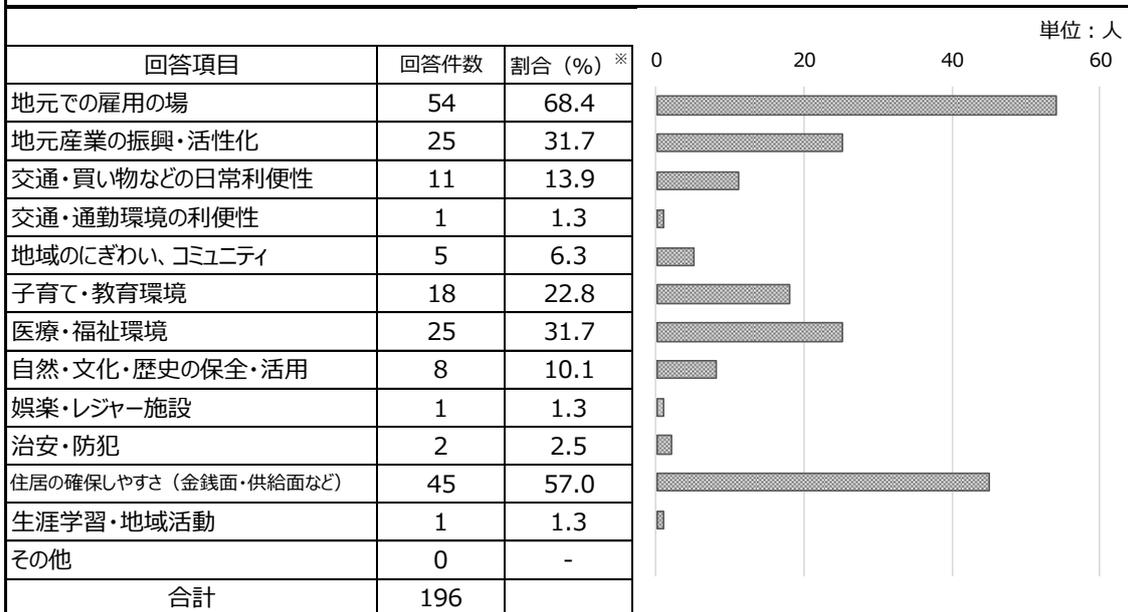
※割合(%)は分母を総数で計算した値

【その他の回答】

- ・借家を増やす事だと思います。・アパート等住宅地の建設・ネット環境の整備・住宅の確保
- ・住宅が阿波連での住宅整備が応募数と比べて足りなさすぎる

問43	<u>全ての方にうかがいます。</u> 渡嘉敷村に住み続ける、または、渡嘉敷村に戻ってくる・転入してくるために必要な条件はどれだと思いますか。				
選択数	※一人3つまで選択				
総数	79人	回答者数	71人	無回答	8人
回答件数	196件				

回答者の半数以上が選択したのは、「地元での雇用の場」(68.4%)と「住居の確保しやすさ(金銭面・供給面など)」(57.0%)であり、定住者・転入者を増やすためには、「雇用と住居の確保」が必要であると考えられている。「地元産業の振興・活性化」(31.7%)からは、地域経済の向上と元気な地域イメージが必要条件との声が伺える。また、「医療・福祉環境」も31.7%と高く、特に子どもや高齢者がいる家庭でも安心して住み続けられる住環境の維持向上が、必要との意見が見られる。



※割合(%)は分母を総数で計算した値

問44	<p><u>全ての方にうかがいます。</u>  渡嘉敷村の定住・移住に関するご意見・定住化を促進するアイデアなどありましたらご自由にお書きください。</p>
<p>宅地の造成、村営アパートの建設（４０代 女性）</p>	
<p>村が保証人（団体）として空家を借り入れできないか（５０代 男性）</p>	
<p>一番は住む場所がない事と、仕事がない。（正規雇用がなく、社会保険や給料面での不安定性）給料が低いのに、日用品をはじめ食料品等全て本島以上にお金がかかる。医療面での不安（夜間の診療や救急の場合、天候により本島に出られない等・・・）上記項目のような不安要素が取り除かれれば、移住、定住化に繋がると思います。（２０代 女性）</p>	
<p>住む場所（アパート等）を増やす事（５０代 女性）</p>	
<p>夏場のマリ観光等以外に冬場の観光メニューを生み出せないかと思います。（５０代 男性）</p>	
<p>住む場所が少ないと思います。現在は会社の寮に住んでいるのですが、この寮を出た場合の住居が見つかりづらいです。実際に定住者・移住者を増加させるのであれば、早急に住居の増加が必要だと思います。（３０代 男性）</p>	
<p>住居の確保のしづらさが障害になっていると思います。住む所が少ない。（３０代 女性）</p>	
<p>住居が少ないので、公営住宅の増加。（３０代 男性）</p>	
<p>空き家や空き屋敷を村が積極的に確保し、提供できるようにする。（５０代 男性）</p>	
<p>病気になりわかったこと、福祉問題（環境）（５０代 男性）</p>	
<p>住宅の確保と行政の支援  仕事場（安定した就職） 例1離島大型老人ホームの設置 2大型ホテルの建設 3前島への自衛隊の配備 4渡嘉敷－座間味村－阿嘉島を橋で結ぶ（６０代 男性）</p>	
<p>離島の物価を安くすれば暮らしやすい。</p>	
<p>民間賃貸住宅の建設促進（５０代 男性）</p>	
<p>住宅の確保、情報の格差是正、雇用の確保、医療の不安解消、教育の強化対策等問題大あり、特に住宅の確保が出来なければ住むことは不可です。（５０代 男性）</p>	
<p>島で生まれ育った人達と、移住してきた人達との考え方の違いや不平等が生じています。例えば、阿波連のビーチ入口の店は、移住者には権利はなく、昔から阿波連に住んでいる人だけに権利があります。年輩の方達の考え方を少しずつ変えてもらえたら、もっと住みやすいはず。移住者から、昔からの行事や習慣は、大切だと思うし、継承しなければいけないと思う反面、何で？と思う事もあり、現在の生活とのギャップを感じるという事を耳にする。お互い理解し合い、認め合える人間関係づくりが必要。  住宅・仕事の不足を解消（５０代 女性）</p>	
<p>島と本島までの交通インフラ強化、もしくは民営化、現在村営の船のみ、よく欠航します。  土地不足のため公営住宅は建築が厳しいそうなので、民間住宅への補助金手当。（島は本島の2倍以上経費がかかるため）  役場へ、そういった面でのプロを派遣してもらおうと、もっとよくなる面もあると思う。（３０代）</p>	
<p>県外から働きに来た人のみだけが住めるマンションまたはアパートの設立を作るべきだと思う。島に実家がある方々もたくさん重要な理由があると思うが、住む所が全く無い県外の方が、このままでは不満がたまって、人間関係にも影響が出て、島の活性化につながらない。（３０代 女性）</p>	
<p>子育てに優しい島だと、移住があるのでは（４０代 女性）</p>	
<p>那覇との利便性を考えたら、慶良間の中で渡嘉敷村が一番定住・移住は多いと考えられる。しかし、実際は住宅難、空き家、家賃の高騰、村が工夫すれば、解決できると思う。民間が入ってこないのであれば、行政が介入しなければならない。過疎化を防ぐためにも、人口増加を図らないといけな。20代世代の住宅の充実と、0才児からの保育支援を村は取り組まなければならないと思います。（４０代 男性）</p>	
<p>情報通信の充実（５０代 男性）</p>	